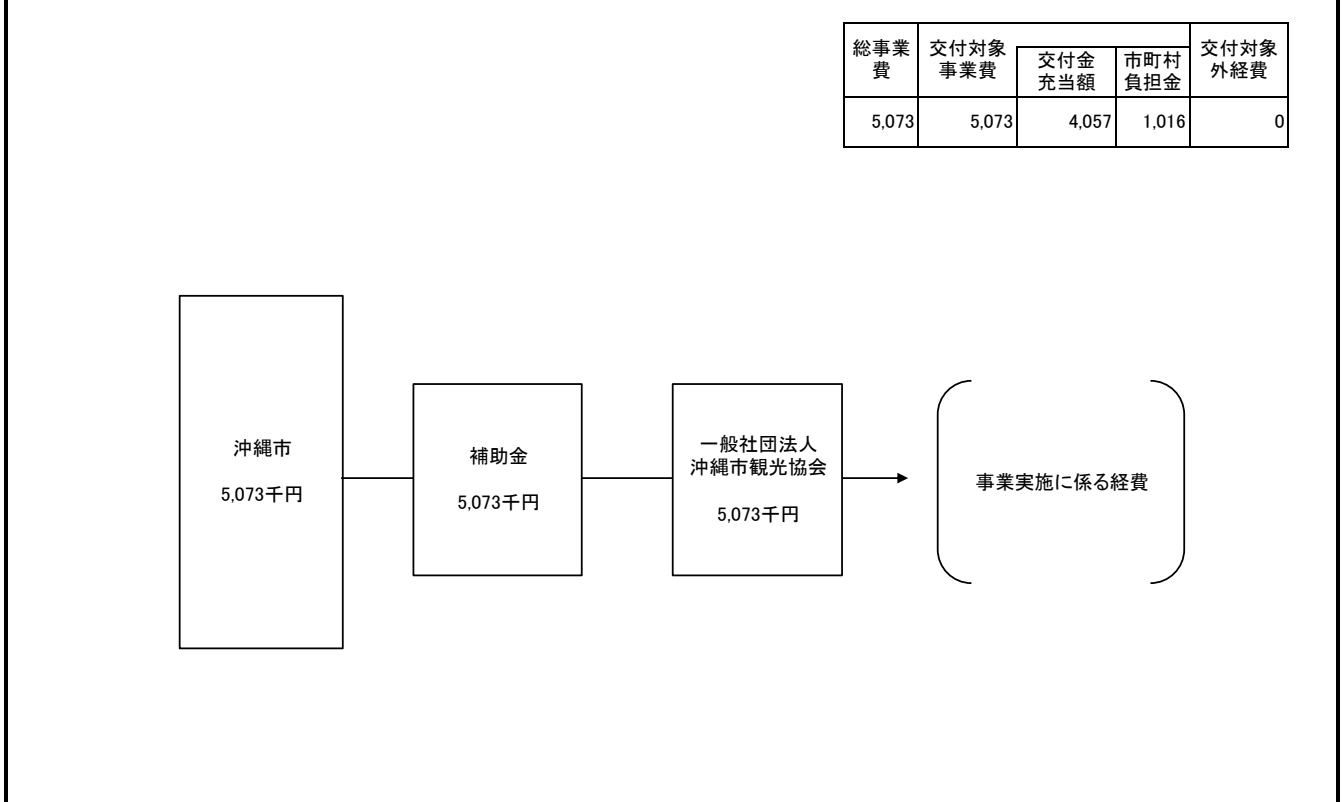


市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	Kozaフィルムオフィス事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開		
事業内容	伝統文化や景観などの本市の魅力ある地域資源を広く内外へ発信するため、映画・ドラマ等の撮影誘客及び撮影支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		6,340	4,495	5,428	5,821	5,560	
		6,340	4,495	5,428	5,821	5,560	
		0	0	0	0	0	
	B. 執行済額	6,259	5,296	5,415	5,208	5,073	
	うち交付金充当額	5,007	4,236	4,332	4,166	4,057	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	98.7%	117.8%	99.8%	89.5%	91.2%	
	予算の状況の説明	当初予算額のうち、11か月分を沖縄振興特別推進交付金の活用により事業を実施しており、1か月分は市単独予算により実施した。					
	活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
誘致活動		目標	( 1回 )	( 3回 )	( 3回 )	( 3回 )	
		実績	1回	1回	1回	1回	
撮影支援		目標	( 撮影実施 )	( 撮影実施 )	( 撮影実施 )	( 撮影実施 )	
		実績	105件	12か月	12か月	12か月	
達成状況説明	誘致活動については、全国の映像制作者が集まるJFC全国ロケ地フェアにおいて実施。撮影支援は12か月にわたり実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	撮影件数	目標	(    )	( 53件 )	( 111件 )	( 81件 )	(    )
		実績		52件	42件	45件	
	【参考指標】映画・ドラマ等撮影支援件数	目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績		113件	61件	80件	
	進捗状況説明	令和2年度の撮影件数は目標件数と乖離があるが、映画・ドラマ等撮影支援件数とともに前年度より増加している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、成果目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症拡大により、移動に制限の少ない県内制作案件の増加等が影響している。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度の撮影件数は45件となっており、前年度より増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、成果目標を達成できなかった。コロナ禍における撮影事業者のニーズを把握しつつ、撮影件数の増加に繋げる取り組みが課題となる。</li> <li>沖縄の独特な気候や風景など、魅力的な撮影のロケ地となっていることについて、認知度を高める取り組みが必要。</li> <li>エキストラの登録や観光誘客数の増加に繋げる取り組みが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインおよびチェックリストによる対策を引き続き講じる必要がある。</li> <li>宿泊施設や飲食店などの情報提供による撮影事業者への撮影支援を行うとともに、撮影に協力していただく地域や関係団体との連携強化を図ることで、撮影に必要な環境を整備し、事業者と地域の満足度向上に努める。</li> <li>ロケ情報を制作会社へ効果的に届くための手法を検討する。</li> <li>撮影された映画等のロケ地について、注目度の高い出演者情報や話題性に着目し、SNSを通じて効果的な情報発信を行うことで観光誘客の増加につなげる。また、撮影前や撮影期間中の情報発信(※作品によっては非公開)</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインおよびチェックリストによる対策を講じるとともに、安全・安心な撮影環境が整備されていることをPRする。</li> <li>県内外の撮影事業者に向け本市のロケ地の環境や支援体制についてPRを行うとともに、建物(場所)や道具等の提供、交通規制による迂回、早朝や深夜での撮影、安</li> <li>全面の確認など、撮影内容について地域の関係者との調整・協議・説明を行うことで、地域の方にもフィルムオフィス事業への理解・協力を求めていく。</li> <li>撮影された映画等のロケ地マップや看板等を製作し、積極的にPRすることで観光誘客を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



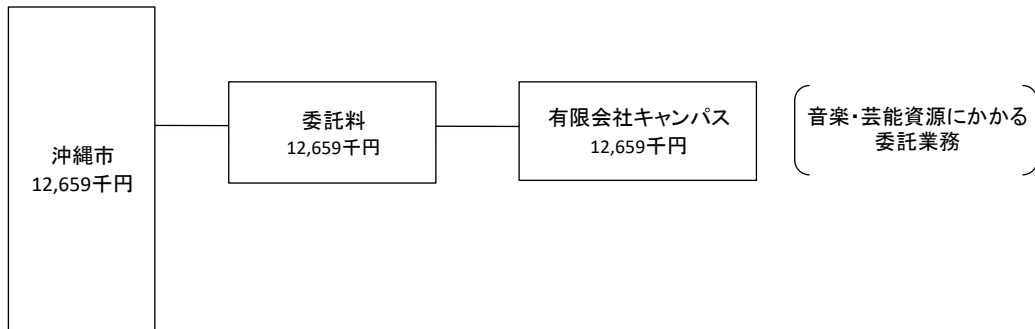
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助団体は、本市において唯一のフィルムオフィス団体として、様々な支援活動を行っている団体であり、これまでの実績により、選定方法は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業計画に準じた内容となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業は収益性がなく公益性の高い事業であるため、受益者負担が無いことは妥当であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○本事業は収益性がなく公益性の高い事業であり、費目、使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	音楽資源活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ		
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	音楽資源を活かした観光振興を図るため、沖縄民謡をはじめ、戦後のアメリカ文化の影響によるロックやジャズなど多彩な本市の音楽・芸能資源の収集・整理、収集した資料を活用した企画展の開催、展示室の運営などを行う。また、音楽によるまちづくりの更なる推進のため音楽資料の常設展示(音楽ミュージアム)に向け取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	12,307	11,852	14,173	14,431	13,235
	(b) 予算現額	12,307	11,852	14,173	14,431	13,235	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	12,307	11,852	14,173	14,431	13,235	
	B. 執行済額	10,911	12,157	13,984	14,263	12,659	
	うち交付金充当額	8,728	9,724	11,187	11,410	10,127	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.7%	102.6%	98.7%	98.8%	95.6%	
予算の状況の説明	3月分については市の予算にて対応しており、当初計画通りに執行している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	音楽資料の常設展示	目標	( )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	
		実績		実施	実施	実施	
	企画展の開催(3回)	目標	( )	( 3回 )	( 3回 )	( 3回 )	
		実績		6回	7回	5回	
音楽イベント等の開催(1回)	目標	( )	( 1回 )	( 2回 )	( 1回 )		
	実績		1回	2回	1回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動目標をH30年度より変更した。</li> <li>沖縄民謡を中心に、本市ゆかりのミュージシャンの写真、音源(レコード・カセット・CD等)、映像、グッズ(書籍、パンフレット、チケット、情報誌等)の常設展示を行った。</li> <li>これまで収集した音楽・芸能資源を活用し、企画展を5回開催した。</li> <li>音楽イベントの開催では入場制限を設け年忘れコンサートを行った。初めて動画配信にも取り組み県内外へおんがく村の施設PR等を行った。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光客来館者数:3,800人	目標	( )	( 1,700人 )	( 3,500人 )	( 3,800人 )	( )
		実績			3,225人	5,335人	632人
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
実績							
進捗状況説明	観光客来館者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が大きく影響し、個人・団体観光客が大幅に減少し、目標より大幅に下回っている。しかし、イベント時に動画配信を行ったことで、内外にこの活動が発信され、おんがく村を知らない方に対しても知っていただく機会となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルスの影響で、個人・団体観光客が大幅に減少した。緊急事態宣言による臨時休館や感染症拡大防止策に伴うイベントの入場制限等をおこなったことも要因に繋がっている。</p>	<p>・R2年度は感染症感染拡大防止策としてイベント時に入場制限を設け、新たに動画配信を行った。この取り組みにより、おんがく村を知らない方に対しても知っていただく機会となった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客数の回復に向け、感染拡大防止策を講じつつ、イベント時には動画配信を行うことで県内外への広報活動を続けていく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・展示物の消毒など、感染予防対策を行い、安心して来場できる環境を整える。イベントについても、感染予防対策を講じ、動画配信を行うことで県内外への広報活動を続けていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,659	12,659	10,127	2,532	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	音楽観光誘客事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ		
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興		
事業内容	本市の音楽資源を活かした観光を振興するため、沖縄市のアーティストやライブハウスなどの音楽情報を広く発信するとともに、幅広いジャンルの音楽イベント等を開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	37,915	34,964	23,679	24,119	22,435
		(b) 予算現額	37,832	34,964	23,679	24,870	19,800
		(c) 増減額(b-a)	▲ 83	0	0	751	▲ 2,635
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	37,832	34,964	23,679	24,870	19,800
		B. 執行済額	33,903	34,634	23,167	24,870	19,799
		うち交付金充当額	27,122	27,707	18,533	19,896	15,839
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	89.6%	99.1%	97.8%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	事業全体として、概ね計画通り執行している。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	音楽情報の発信(10月～12月)	目標	( 127回 )	( 7月～2月実施 )	( 5月～2月実施 )	( 10月～12月実施 )	
		実績	113回	7月～2月実施	5月～2月実施	10月～12月実施	
	音楽イベント等の開催(3回)	目標	( 10月～12月実施 )	( 2回 )	( 2回 )	( 3回 )	
実績		10月～12月実施	3回	2回	3回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で開催される音楽イベント等の情報を、ホームページ及びSNSを活用し発信。</li> <li>音楽イベントを、12月に3回開催。</li> </ul>						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	「おきなわ音楽月間」期間中における主要イベントの集客数:53,000人	目標	(    )	( 43,000人 )	( 64,000人 )	( 53,000人 )	(    )
		実績		50,750人	58,754人	1,899人	
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	おきなわ音楽月間では、HP及びSNSを活用し、市内の音楽関連の公共施設をはじめ、民間のライブハウス等で実施される音楽イベント等、音楽関連の情報を総合的に発信しており、情報発信をした主要イベントの集客数を成果目標としている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により集客数が減少し、目標値には届かなかったが、状況を考慮し音楽イベントをオンライン配信により実施した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業で実施する音楽イベントを含め、市内の音楽関連情報について、ホームページ及びSNS(Facebook、LINE等)を活用し、情報を発信した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての音楽イベントがオンライン配信による実施を余儀なくされたため、今後、オンライン配信等無観客でのイベント実施が主流となってくる可能性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ及びSNSを活用した情報発信手法に関して、より多数の方に関覧してもらえる仕組みづくりの検証が必要。</li> <li>オンライン配信による効果的な映像演出手法等を検討し、集客へ繋げていく必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽情報の発信については、SNS等を活用した情報発信を継続するとともに、閲覧数を増やす仕組みの調査・検討を行う。</li> <li>オンライン配信による映像演出手法等については、他自治体や民間での活用事例等も参考に、より集客へ繋がるイベントとなるよう努めていく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,800	19,800	15,839	3,961	0



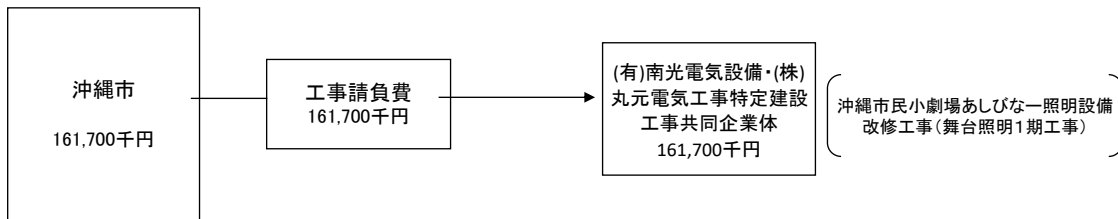
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業者は、公募型プロポーザルで選定し、妥当であったと考える。</li> <li>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</li> <li>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	文化活動拠点施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	文化の振興及び観光誘致の拡大を図るため、伝統芸能や演劇等幅広いジャンルで活用される文化活動拠点施設の舞台機構や舞台照明等、設備の機能充実を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R4 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a)当初予算額	6,837	126,954	110,530	3,500	166,546
		(b)予算現額	6,837	106,378	83,726	3,500	161,700
		(c)増減額(b-a)	0	▲20,576	▲26,804	0	▲4,846
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	6,837	106,378	83,726	3,500	161,700
		B.執行済額	5,616	106,378	83,725	2,255	161,700
		うち交付金充当額	4,492	85,102	66,979	1,804	126,118
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	82.1%	100.0%	100.0%	64.4%	100.0%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行できた。なお、増減額(c)の主な要因については、入札差額によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事		目標 ( 工事 )	( 工事 )	( 設計 )	( 工事 )	
			実績	工事完了	工事完了	設計完了	工事完了
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	令和2年度に照明設備機器等の1期工事を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	沖縄市民小劇場あしびな一照明設備機器改修工事の完了		目標 ( )	( 工事の完了 )	( 設計の完了 )	( 工事の完了 )	( )
			実績	工事の完了	設計の完了	工事の完了	
	【R3成果目標】施設稼働率		目標 ( )	( )	( )	( )	( 77% )
			実績				
進捗状況説明	令和2年度に照明設備機器等の1期工事を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1期目の照明設備機器等の機能強化を行い、利用者の利便性や満足度アップを図ることができた。 今後は利用者拡大に努めることが課題となる。	照明設備機器等の機能強化に関する情報(機能強化を行い、グレードアップする部分について等)をホームページ等でPRする。 利用者との事前打ち合わせ時に、機能強化していることを周知する。
今後の取り組み方針		
令和3年度に2期目の照明設備機器等工事を完成させることで、これまで以上に質の高い環境での利用が可能となることを、ホームページ等でPRし利用者拡大に努める。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
#####	161,700	126,118	35,582	0



資金の流 点検 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は指名入札方式により選定しており、妥当である と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○照明設備機器等の現状を把握したうえで事業を実施して おり、適正な予算規模であると考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的達成の観点から必要な ものなのか等について、額の確定時に支出等に関する書類 により確認し、適正であると考えている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤		国際交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-イ	
	経済文化部 文化芸能課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界と共生する社会の形成	
担当部署名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	多様な国籍の住民等が交流できる国際交流の拠点を目指し、コザインターナショナルプラザにおいて県内関係機関や兄弟姉妹都市等の国際交流協会などとの連携を図り、拠点施設としての機能充実を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	18,151	16,544	16,968	17,545	17,794
		(b)予算現額	18,151	16,544	16,968	17,545	19,324
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	1,530
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		18,151	16,544	16,968	17,545	19,324
	B. 執行済額		16,131	15,105	16,822	17,157	16,970
	うち交付金充当額		12,905	12,083	13,457	13,725	13,576
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		88.9%	91.3%	99.1%	97.8%	87.8%
予算の状況の説明		予定していた取組は概ね実施し、適正に予算を執行した。 年間運営を行う業務であり、11ヶ月分を沖縄振興特別推進交付金の活用とし、1ヶ月分(3月)は市の単費を充て実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	目標	①多言語相談(週6日) ②多言語語学講座(週3回) ③多国籍住民等との交流会	①運営 ②講座開催 週3回 ③相談窓口 週3回 ④日本語交流会週2回 ⑤異文化講座 月1回 ⑥情報発信	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会	
実績	①運営 289日 ②講座開催 週3回 ③相談窓口開設週3回 ④日本語交流会開催 週2回 ⑤異文化講座開催 19回 ⑥情報発信	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回) ③交流会	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週3回以上) ③交流会	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週9回) ③交流会	①多言語相談(週6日) ②語学講座(週9回) ③交流会		
達成状況説明	①多言語相談については、毎週月曜日～土曜日の週6日に対応しており、相談内容によって、適切な専門家への繋ぎや前例を元にしたアドバイス等を行った。満足度アンケートにおいては、ご協力いただいた全員が“かなり満足”という結果だった。 ②多言語語学講座については、英語・スペイン語・中国語・韓国語・フランス語・日本語講座を開講。(講座回数:年間合計449回 週9回程度) ③多国籍住民との交流については、ジャマイカ料理教室、三線弾きとちんすこう作り体験、折り紙教室、中国の中秋節など、国際色豊かなイベントを実施。また、毎週金曜日に行われるゆんたく交流会においては、職場、地域、家庭の話題から沖縄の文化、習慣、歴史など、幅広いテーマを取り上げながら実用的な日本語の学習を行うとともに、外国人住民と地元住民の出会い・交流・情報交換の場となっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	【R2成果目標】						
	目標	①来所者数	( )	( )	①来所者数 8,709人 ②80%以上	①来所者数 8,500人 ②80%以上	①来所者数 7,000人 ②80%以上
	実績	②生活上の困難の改善が図れたか(80%以上)を含め、相談者に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。			①来所者数 8,218人 ②98%	①来所者数 2,726人 ②100%	
	目標	【H30成果目標】	( )	①80%以上 ②来所者数 8,354人	( )	( )	( )
実績	①多言語相談窓口相談によかったか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。 ②来所者数8,354人		①98% ②来所者数 9,388人				
進捗状況説明	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で来所者数が減少し、目標値には届かなかったが、語学講座をオンラインで開催したり、イベントを動画配信したりなど、状況に応じて業務を実施した。						

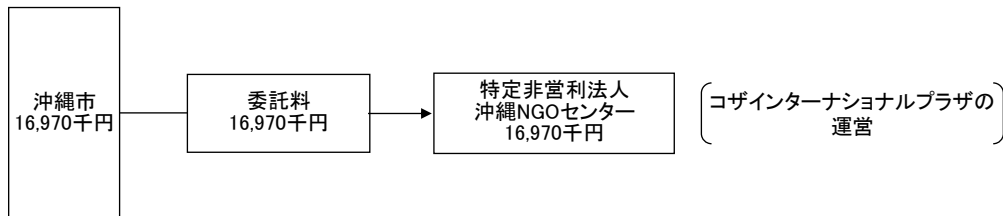
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(来所者数) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、いくつかのイベントを中止・縮小せざるを得なかった。また、市のガイドラインに沿って講座やイベントの人数を制限したり、感染防止の為、交流会への参加を見送る方も多く、来所者数が昨年度より減少した。R3年度に関しても引き続き影響が予想される。 ・ワクチン接種の開始に伴い、外国人住民からの問合せ増加が予想される。 ・2022年に開催される世界のウチナーンチュ大会や、2023年に開催されるFIBAバスケットボールワールドカップ2023を見据え、社会全体において、国際化及び国際交流の機運が高まってくると予想される。	(来所者数) ・新型コロナウイルスの状況により、イベントの実施や直接の来所が困難な場合でも、コザインターナショナルプラザの役割が果たせるようにする。 ・問い合わせへの対応を多言語でも円滑に行うため、市民に送付される書類の内容を把握しておく必要がある。 ・講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく必要がある。

**今後の取り組み方針**

(来所者数)  
・対面形式等での開催が難しいイベントに関しては、オンラインで実施することで、外国人と地元住民の出会い・交流・情報交換の場を絶やさないようにする。また、語学講座に関しても、同じくオンラインで対応していく。  
・市民に送付されるワクチン接種に関する案内や、市からの情報を多言語化し、SNS等で発信することで、外国人住民にも情報が行き渡るよう努める。  
・講座・イベント関連については、大規模イベントに貢献できるような人材育成を意識して企画・提案していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
16,970	16,970	13,576	3,394	0



資金の 使途の 流れ、 点検 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業所は、公募型プロポーザル方式により庁内選定委員会より選定しており、選定方法は妥当であるといえる。 ○不用額が5%以内であり、予算規模は適正であった。 ○費目、使途については、目的に即し、必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	エイサーのまち推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-イ		
担当部署名	経済文化部 文化芸能課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	エイサーのPRや振興を通して、観光客の誘客の拡大を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	57490	53,163	68,192	43,374	41,092
	(b) 予算現額	88486	478,896	86,183	43,374	2,178	
	(c) 増減額(b-a)	30,996	425,733	17,991	0	▲ 38,914	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	88,486	478,896	86,183	43,374	2,178	
	B. 執行済額	86129	472142	83611	41,248	2,067	
	うち交付金充当額	68902	377713	66889	32,998	1,653	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.3%	98.6%	97.0%	95.1%	94.9%	
予算の状況の説明		不用額については、新型コロナウイルス感染症の影響による費用弁償の未執行によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	目標	①エイサーのまちPR事業 ・エイサーステッカー制作 ・エイサーリーフレット製作 ・街中へのエイサーバナー等設置 ・エイサーイベントカードの製作 ②沖縄全島エイサーまつり事業 ・シャトルバス運行 ・エイサーまつり空間演出業務	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施	
実績	③エイサー会館コンテンツ制作(エイサー会館展示物更新) ④エイサーキャラバンの実施:3回	①実施 ②一部未実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施 ②実施 ③実施	①実施		
達成状況説明	エイサーのまちPR事業 エイサーのまち沖縄市をPRするために、エイサー会館との連携によるインターネットを活用した動画配信や広報活動を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(25年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	エイサーイベント来場者数	目標	( 320,000人 )	( 383,848人 )	( 403,403人 )		(    )
		実績		392,366人	403,769人		
	エイサー会館来場者数	目標	(    )	( 21,088人 )	( 28,584人 )	( 27,874人 )	(    )
		実績		25,293人	26,772人	9,556人	
進捗状況説明	エイサーイベント来場者数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、沖縄全島エイサーまつりを始めとしたエイサーイベントが中止となったため、成果目標から除外した。 エイサー会館来場者数については、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人・団体観光客が大幅に減少し、目標より大幅に下回った。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <p>令和2年度はエイサーイベントが中止となったが、今後開催するにあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対策が必須であり、入場制限や検温消毒等の方法についての検討が必要となる。</p> <p>(エイサー会館来場者数)</p> <p>・エイサー会館来場者数が目標値を下回った主な要因は、新型コロナウイルスの影響による外出自粛の他、国・県の緊急事態宣言等による臨時休館や営業時間短縮、施設内コンテンツの利用制限、実施予定のイベントの中止等、感染症感染拡大防止策を実施したことも関連している。</p>	<p>(エイサーイベント来場者数)</p> <p>・沖縄全島エイサーまつり等のエイサーイベントの開催に向け、感染症対策の手法を検討する。</p> <p>(エイサー会館来場者数)</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束後の観光客数回復に向け、エイサー会館では国・県の動向を注視しながら感染拡大防止策を講じつつ、外出自粛時はインターネット等を活用した周知活動を強化・継続していくことで、来場者の増加に繋げる。</p>

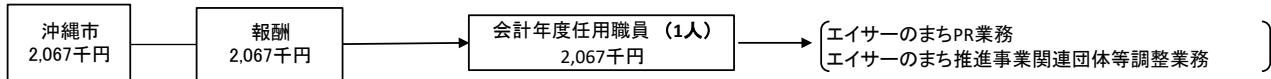
**今後の取り組み方針**

(エイサーイベント来場者数、エイサー会館来場者数)

- ・エイサーイベントについては、感染症対策を講じた上での開催手法を検討したうえで、沖縄全島エイサーまつりの空間演出による魅力向上及びシャトルバス運行による来場者の利便性向上に引き続き取り組むとともに、エイサーグッズの製作やエイサーバナー掲揚等により来場意欲を高める。
- ・エイサー会館では、インターネットを活用したSNS配信や、エイサー演舞やエイサー会館のPR動画等を配信することで認知度の向上を図りつつ、館内でのマスクの着用や設備の除菌等の感染防止対策を行い、イベントについても密集を避けるなどの対策を検討し、来場者に安心感を伝えることで来場意欲を高める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,067	2,067	1,653	414	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。 ○費目、用途については、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

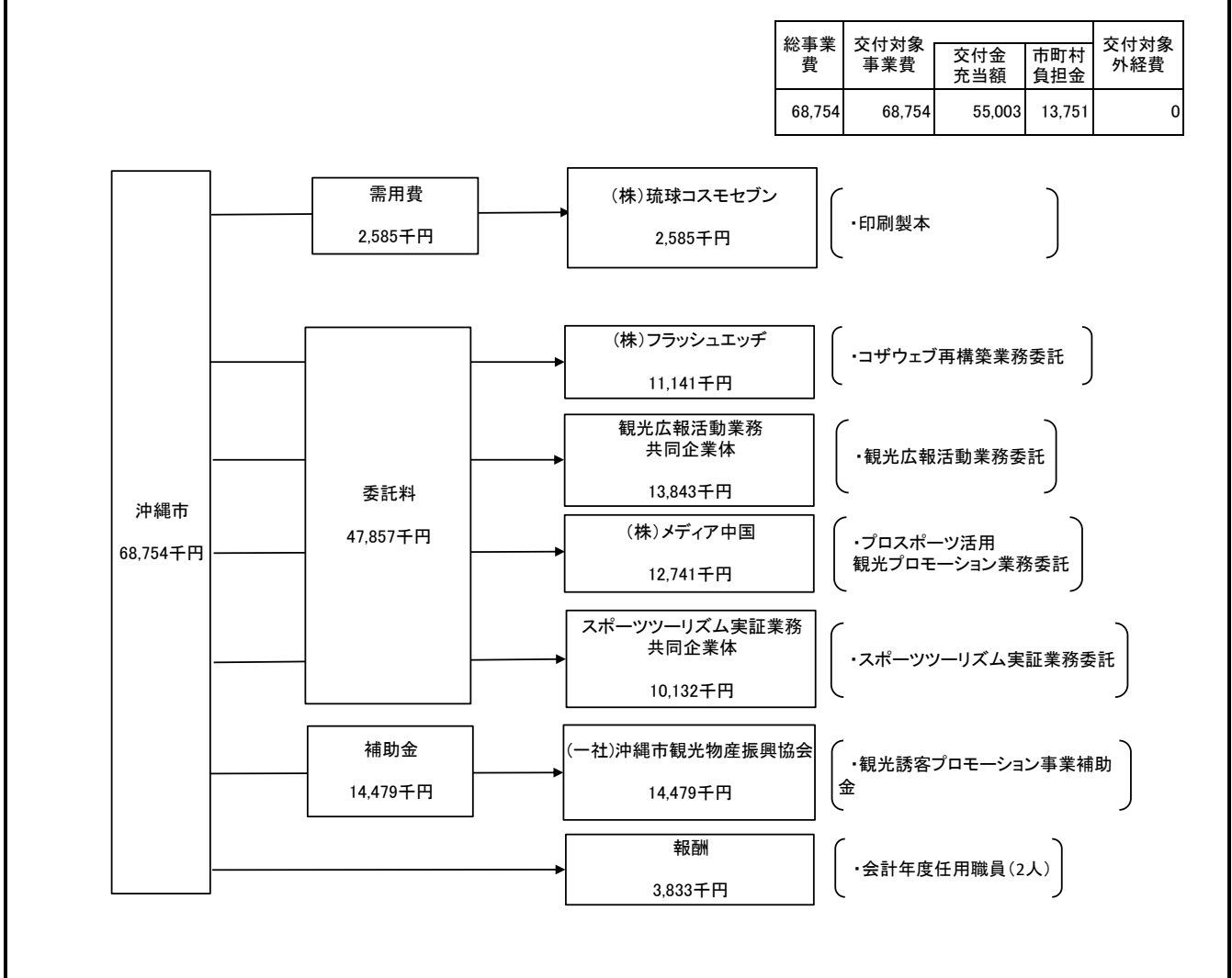
市町村名	沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	観光宣伝事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	III-1-(1)		
事業内容	観光PR活動の実施により、滞在型観光の推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	65,187	56,734	76,318	48,803	79,180
		(b) 予算現額	63,282	82,617	76,318	48,803	79,180
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,905	25,883	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	63,282	82,617	76,318	48,803	79,180
		B. 執行済額	53,637	82,449	73,303	48,552	68,754
		うち交付金充当額	46,597	65,958	58,642	38,841	55,003
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	84.8%	99.8%	96.0%	99.5%	86.8%
予算の状況の説明	観光誘客プロモーション事業については、当初予算額のうち、11か月分を沖縄振興特別推進交付金の活用により事業を実施しており、1か月分は市単独予算により事業を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	①各種メディアやWEBを活用した観光広報活動業務 ②ガイド養成講座の実施 ③モニターツアーの実施	目標	①1種類 ②6回 ③1本	①実施 ②16回 ③4回	①実施 ②16回 ③11回	①実施 ②16回 ③25回	
	実績	①1種類 ②6回 ③1本	①実施 ②16回 ③24回	①実施 ②16回 ③31回	①実施 ②16回 ③27回		
達成状況説明	①観光広報活動業務として下記を行った。 ・本市の観光PR動画「チムドンドンコザ」を活用したプロモーションの展開 ・観光ガイドブック「沖縄市GO」の情報更新及び配布、雑誌・SNS広告等(男の隠れ家)、@Pressの活用(プレスリリース配信) ・ナイトメイヤー企画(DAPUMP ISSA氏) ②本市の誘客に繋げるための観光ガイド養成講座を行い、ガイドの育成を行った。 ③旅行会社やメディア、学校関係者等を対象にモニターツアーを実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	主要ホテル宿泊延べ人数	目標	(    )	( 307,520 )	( 357,757 )	( 354,585 )	(    )
		実績			334,232	281,473	110,730
	【参考指標】 主要施設入場者数	目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
実績				3,852,782	3,890,391	2,099,989	
進捗状況説明	主要ホテルの宿泊延べ人数については、110,730人と前年より大幅な減数となった。要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う航空路線の減便やクルーズ船寄港の中止などにより、沖縄県への観光入込客数が減少した影響が大きいと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大以降、観光入込客数の大幅な落ち込みとともに、宿泊客数への大きな影響がみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内観光の誘客プロモーション強化を図る。後々は、インバウンド観光の回復を見込み、適切な時期に国外向けの誘客プロモーションの展開を図る。</li> <li>市内宿泊施設の利用促進を図るため、長期滞在に繋がる観光メニューの充実を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 令和2年度に実施した観光統計調査結果に基づき、地域や季節に応じたターゲットを選定し広報活動を行うことで市内宿泊者数の拡大を図る。
  - 観光情報誌「沖縄市GO」の県外催事や県内の宿泊施設等での配布。
  - ナイトメイヤーを活用し、withコロナ/afterコロナにおけるイベントを開催。
  - プロスポーツキャンプシーズンや沖縄アリーナ等で開催される大型イベント中の市内周遊イベントを開催。
- エイサー会館及び戦後資料展示室「ヒストリート」を県内外の商談会や修学旅行フェアで積極的にPRすることで、修学旅行入込数の増加を図る。
- 新型コロナウイルス感染症拡大による観光への影響を的確に把握し、感染症対策を実施するとともに、安心・安全のPRに繋がる効果的な観光宣伝に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、公募型プロポーザル方式による事業者を選定した。一部の委託事業と補助事業については観光に関する知識や経験及び関係団体との連携を考慮し判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業の補助事業の経費については補助金と受益者負担により実施されており、受益者との負担関係は妥当であると考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○本事業は費目・使途については、検査を実施しており

市町村名	沖縄市						
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-⑨	観光統計調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市町村等に対する調査活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	多様化する観光ニーズに対応し、より効果的な観光施策による観光誘客を目的として、本市の観光の実態調査を行う。アンケート調査およびビッグデータやICT等の統計データの活用など、多角的に分析を行うことにより、本市の観光施策展開のための基礎資料とする。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,286	7,992	13,195		
		(b) 予算現額	11,286	7,992	13,195		
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計 (b+d)		11,286	7,992	13,195	0	0
	B. 執行済額		11,280	7,986	13,185		
	うち交付金充当額		9,024	6,388	10,547		
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		99.9%	99.9%	99.9%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通りに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光入込統計調査の実施		目標	実施	実施	実施	
			実績	実施	実施	実施	
達成状況説明	観光統計調査業務として下記の事項を行った。 ①観光実態調査として、国や県と本市の観光統計について整理・分析と前年度との経年比較を実施。 ②携帯GPSデータの活用により、県外観光客を対象を絞ったうえでの分析を実施。 ③スポーツキャンプ・合宿等の動態分析を実施。 ④レンタカーGPS調査によりインバウンド観光客の動態分析を実施。 ⑤令和2年度夏季期間の観光動態分析を実施。 ⑥旅行サイト口コミ分析、WEBアンケートの実施、市内ホテルの宿泊実績の把握調査を実施。 ⑦過去分及び令和2年度取得データ・分析結果等をもとに、市内観光関係者との勉強会を開催。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	観光入込統計調査の完了		目標	(完了)	(完了)	(完了)	( )
			実績	完了	完了	完了	
	【R2成果目標】 観光入込統計調査の結果を踏まえ、主要観光地の入込客数等、観光誘客に係る目標値を設定し、当該数値を目標とした観光振興施策を実施する。 【R3成果目標】 観光統計調査の結果を公表及び配布し、民間の事業等において有用であったかを含め、アンケートにより本調査の在り方を検証する。		目標	( )	( )	(完了)	(80%)
進捗状況説明	沖縄市観光統計調査報告書として、下記の内容を取りまとめ、紙媒体での発行、市HPIにて公表した。 ①沖縄県観光統計データと本市統計データの比較 ②本市観光客の特性 ③本市観光客の動向 ④本市観光の評価 ⑤本市観光振興の方向性 ⑥H30年度検証シートの成果目標については、令和2年度当初に市内主要観光事業者へヒアリングを行ったところ、事業者のマーケティングに活用しきれていないことを聴取したため未実施ではあるが、令和2年度に市内主要観光事業者向けの勉強会を開催し、R3年度にアンケートを実施する。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光統計情報について、市内事業者等への周知(市内全域)と、より効果的なマーケティング等の活用に至るまでが課題。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光統計情報に与える影響が大きい。</li> <li>市内外の事業者による観光統計情報に基づいた(活用した)企画・事業提案等がいただけるような取り組みも必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>携帯位置情報を活用したデータについては、統計情報の精度を高めるため、サンプル数がより多い統計情報の取得方法も模索する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響や施策実施による観光統計情報の変化について、その要因等の分析・把握に努める。</li> <li>市内外の事業者への効果的な周知方法と、統計情報のマーケティング等への有効活用に向けた取り組みについて、観光関連団体や民間事業者等との勉強会等を通して改善を図りつつ推進する。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプル数が多く取得できる情報については、分析の精度をより高めることが期待されるため、調査手法の精緻化により、効果的かつ精度の高い手法を検討する。</li> <li>引き続き携帯GPS調査による本市来訪者の実態調査を行うとともに、調査対象者及び調査期間の見直しにより、さらに精度の高い調査結果の把握に努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の収束後、インバウンド観光客の受入れが再開した際にレンタカーGPS調査などを実施し、市内への立ち寄り箇所や平均滞在時間等の分析に努める。</li> <li>観光統計情報を活用した事業の取り組みを推進し、事業の効果検証方法を確立することで、戦略的な施策を展開する。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大による観光への影響を把握し、今後における観光宣伝・施策の再考に努める。</li> <li>R2年度に実施できなかった市内事業者向けのアンケートを行い、本調査のあり方・有用性を検証する。</li> </ul>		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>13,185</td> <td>13,185</td> <td>10,547</td> <td>2,638</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,185	13,185	10,547	2,638	0	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,185	13,185	10,547	2,638	0										
<pre> graph LR     A[沖縄市 13,185千円] --&gt; B[委託料 13,185千円]     B --&gt; C[オリエンタルコンサルタンツ ・沖縄市観光物産振興協会 共同企業体 13,185千円]     C --- D[・観光統計調査業務委託]           </pre>														
資金の 流れ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本事業については、公募型プロポーザル方式により業者を選定し、選定方法は妥当だと考える。</li> <li>○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。</li> <li>○本事業は費目、使途については、検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

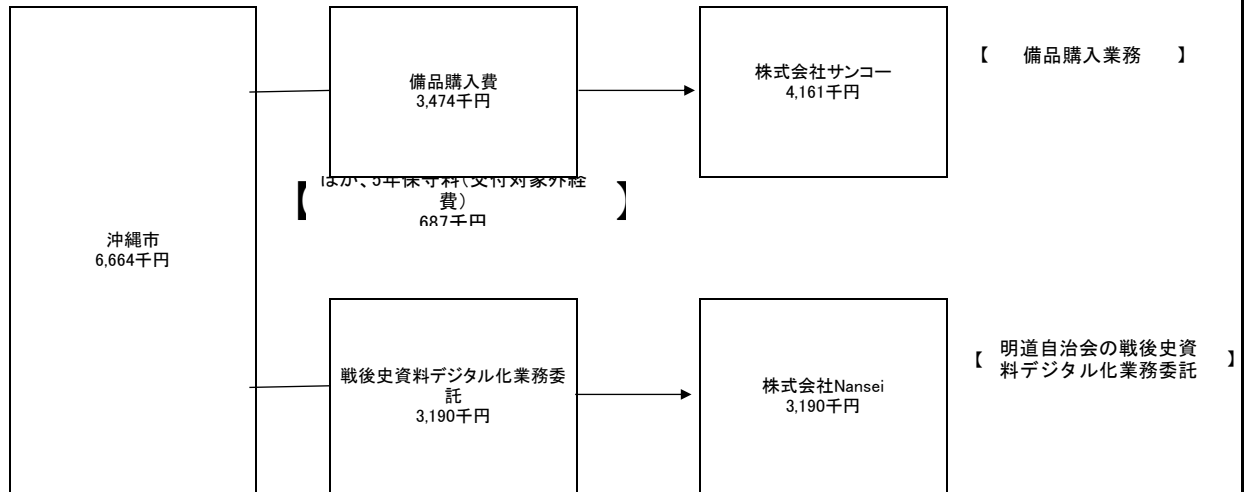


市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	戦後文化資料等展示事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(5)-ア	
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり	
事業内容	沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートにおける常設展・企画展の充実を図るために必要な備品を購入する。また戦後の貴重な史資料をデジタル化し、常設展・企画展に活用していく。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和3年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	H29年度(繰越)	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	86,467	86,467			7,942
	(b)予算現額	174,915	174,915				6,664
	(c)増減額(b-a)	88,448	88,448	0	0		▲1,278
	(d)繰越額			42,841			0
	A.計(b+d)	174,915	174,915	42,841	0		6,664
	B.執行済額	118,690	118,690	35,285			6,664
	うち交付金充当額	94,952	94,952	28,227			5,331
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)	67.9%	67.9%	82.4%	#DIV/0!		100.0%
予算の状況の説明	(c)増減額については入札残及び交付対象外経費となる備品購入費に係る5年保守料である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	備品の購入	目標	( )	( )	( )	( 実施 )	
		実績				実施	
	戦後史資料のデジタル化	目標	( 実施 )	( )	( )	( 実施 )	
実績		実施			実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品の購入については、令和2年10月に契約を交わし、12月に納品及び支払いとなり、令和3年3月の企画展で活用している。</li> <li>・戦後史資料のデジタル化については、令和2年10月に契約を交わし、令和3年2月納品、3月に支払いが完了している。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	年間来館者数25,800人	目標	( )	( 21,600人 )	( 21,600人 )	( 25,800人 )	( 10,000人 )
		実績		19,770人	25,077人	6,358人	
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言やまん延防止重点措置等の影響により、来館者数は前年度から大幅に減少し、目標に届かなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・来館者数は新型コロナによる緊急事態宣言やまん延防止重点措置のため、観光客、修学旅行者数の減少及び沖縄県民の外出自粛等で令和元年度と比較し大幅に減少している。</p>	<p>・ヒストリートでは沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー(シーサーステッカー)を掲示し、新型コロナ感染症対策を行っている旨周知する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・県内の小中高校へ沖縄市戦後文化資料展示館ヒストリートの案内ポスター掲示及びリーフレットの設置を依頼していく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,351	6,664	5,331	1,333	687

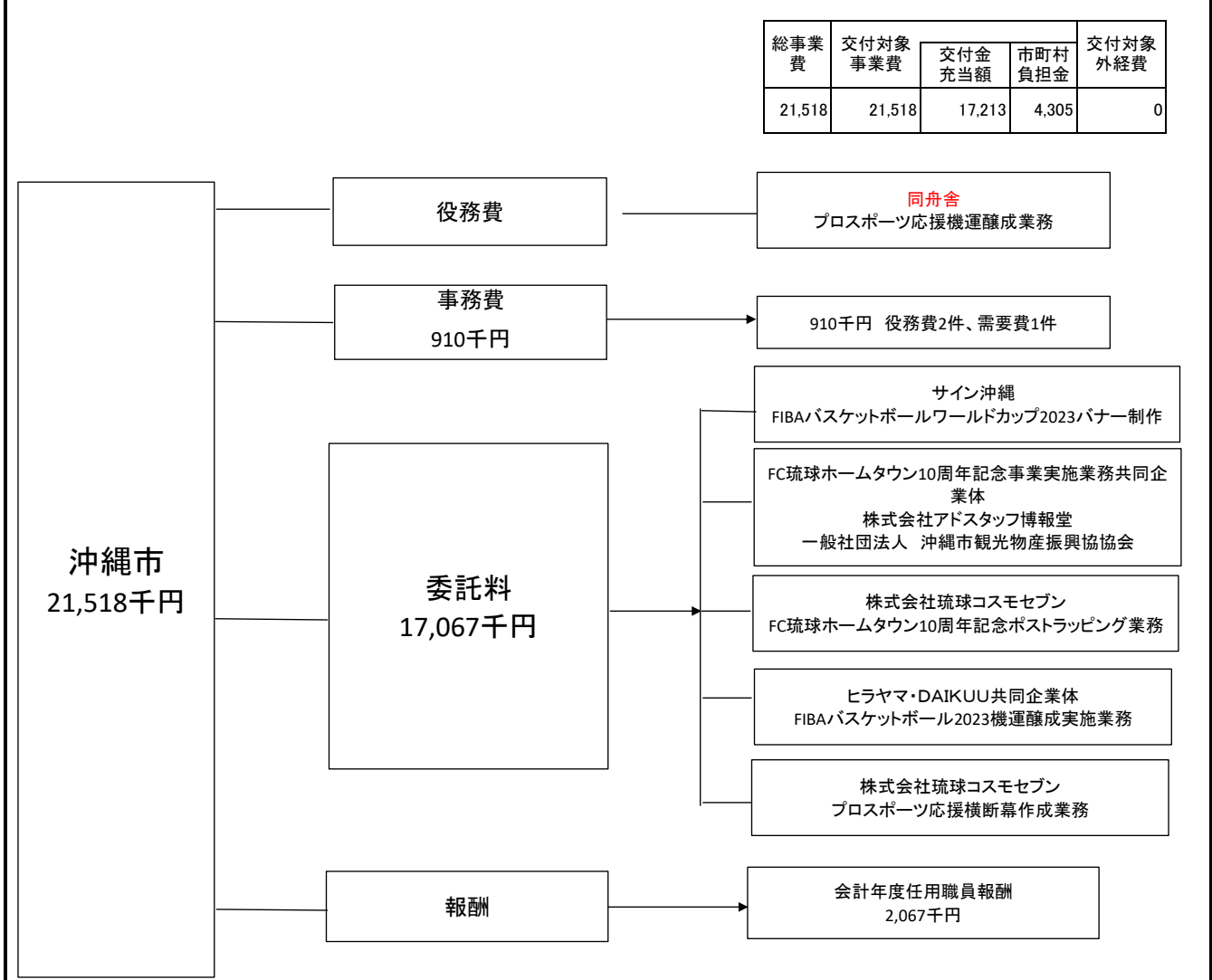


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○備品の購入及び戦後史資料のデジタル化(委託)は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①		スポーツコンベンション推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア		
	担当部署名	経済文化部 観光スポーツ振興課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際定期的な沖縄ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図るため、プロスポーツチームやアマチュア団体の合宿誘致を行い、スポーツ合宿宿泊者数の増加を図る。 また、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベントの開催によりホームゲームへの観客動員数増を図る。							
効果発現年度	■当年度      □後年度( R2 年度)							
実施方法	■直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,978	8,317	67,994	20,138	22,544	
		(b) 予算現額	8,978	45,706	67,994	20,138	22,544	
		(c) 増減額(b-a)	0	37,389	0	0	0	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		8,978	45,706	67,994	20,138	22,544	
	B. 執行済額		8,499	45,438	65,049	19,599	21,517	
	うち交付金充当額		6,799	36,349	52,039	15,679	17,213	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		94.7%	99.4%	95.7%	97.3%	95.4%	
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行しており、不用額は入札差金によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	目標		①プロスポーツ3チーム ②2回 ③多言語 ④3団体 ⑤2回 ⑥1種類 ⑦実施	①12ヶ月 ②2回 ③3団体 ④4回 ⑤10回 ⑥実施	①12ヶ月 ②2回 ③4団体 ④1回	①12ヶ月 ②誘致活動 ③4団体 ④1回 ⑤製作・設置		
	実績		①プロスポーツ4チーム ②3回 ③多言語 ④3団体 ⑤2回 ⑥1種類 ⑦実施	①12ヶ月 ②3回 ③4団体 ④4回 ⑤10回 ⑥実施	①12ヶ月 ②0回 ③4団体 ④1回	①12ヶ月 ②誘致活動なし ③4団体 ④1回 ⑤製作・設置		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度(12ヶ月)をとおして合宿等の受入を行う準備は行っていたが、新型コロナウイルスの影響により、合宿のキャンセルや自粛が多い状況であった。</li> <li>・誘致活動については、活動予定であったが新型コロナウイルスの影響により、行う事が出来なかった。</li> <li>・プロスポーツチームへの支援については、広島東洋カープ、FC琉球、琉球ゴールデンキングス、パナソニックパンサーズなどを対象に応援幕等の作成・設置による機運醸成を図るとともに、FC琉球のファン交流イベントを1回、シーズン終了セレモニーを1回開催、琉球ゴールデンキングスのシーズン終了報告会、ファン交流イベントは、新型コロナウイルスの影響により未開催となった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	スポーツ合宿延べ宿泊者数:38,700人		目標	( )	( 16,795人 )	( 24,532人 )	( 38,700人 )	( )
			実績		26,742人	26,986人	2,783人	
	ホームゲーム年間来場者数:205,660人		目標	( )	( 122,563人 )	( 158,421人 )	( 205,660人 )	( )
			実績		154,461人	194,163人	33,184人	
	W杯1000日前イベント来場者数:3,000人		目標	( )	( )	( )	( 3,000人 )	( )
		実績				1,200人		
進捗状況説明		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年間を通して合宿のキャンセルや自粛が多かったため、宿泊者数は減少している。また、ホームタウンプロスポーツチームのホームゲームの来場者数について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、無観客や観客動員数の制限があったため、年間来場数が減少している。 W杯1000日前イベントについては、新型コロナウイルス感染症のため、密にならないよう対策を行いながら開催をしたため、来場者数は目標数には届かなかったが、2023年のFIBAW杯に向けて機運醸成を図る事ができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①スポーツ合宿について、市で受入にあたりガイドラインや連絡体制等、安全・安心な合宿に繋がるよう環境改善を行った。 ②ホームタウンチームの年間来場者数の増加につなげるため、新型コロナ対策を行ったうえでファン交流イベント等を行った。	①引き続き、関係団体と連携を図りながら、受入れのガイドライン等を作成・改善することにより、安全・安心な合宿が可能であることのPRや誘致活動を継続的に実施し、スポーツ合宿宿泊者数の増加に取り組む。 ②新型コロナウイルス感染症拡大の状況も考慮しつつ、スポーツ合宿者やホームゲーム来場者が市内へ回遊を行うような仕組みづくりについて、市内事業者等と連携を図りながら取り組む。また、2023年FIBAバスケットボールワールドカップ沖縄市開催に向けて関連イベントを行う事でスポーツによるまちの活性化を目指し、スポーツコンベンションシティの推進による観光振興を図る。
<b>今後の取り組み方針</b>		
①市内をバナー等の装飾等でホームタウンプロスポーツチームの活動の機運醸成を図る事で、支援を引き続き行い、ホームゲーム等の来場者の増加や多くの来場者が市内へ回遊を行うような取り組みを行う。 ②2023年FIBAバスケットボールワールドカップ沖縄市開催に向けての機運醸成のため、イベント等を開催し、スポーツコンベンションの推進や地域活性化につなげていく。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



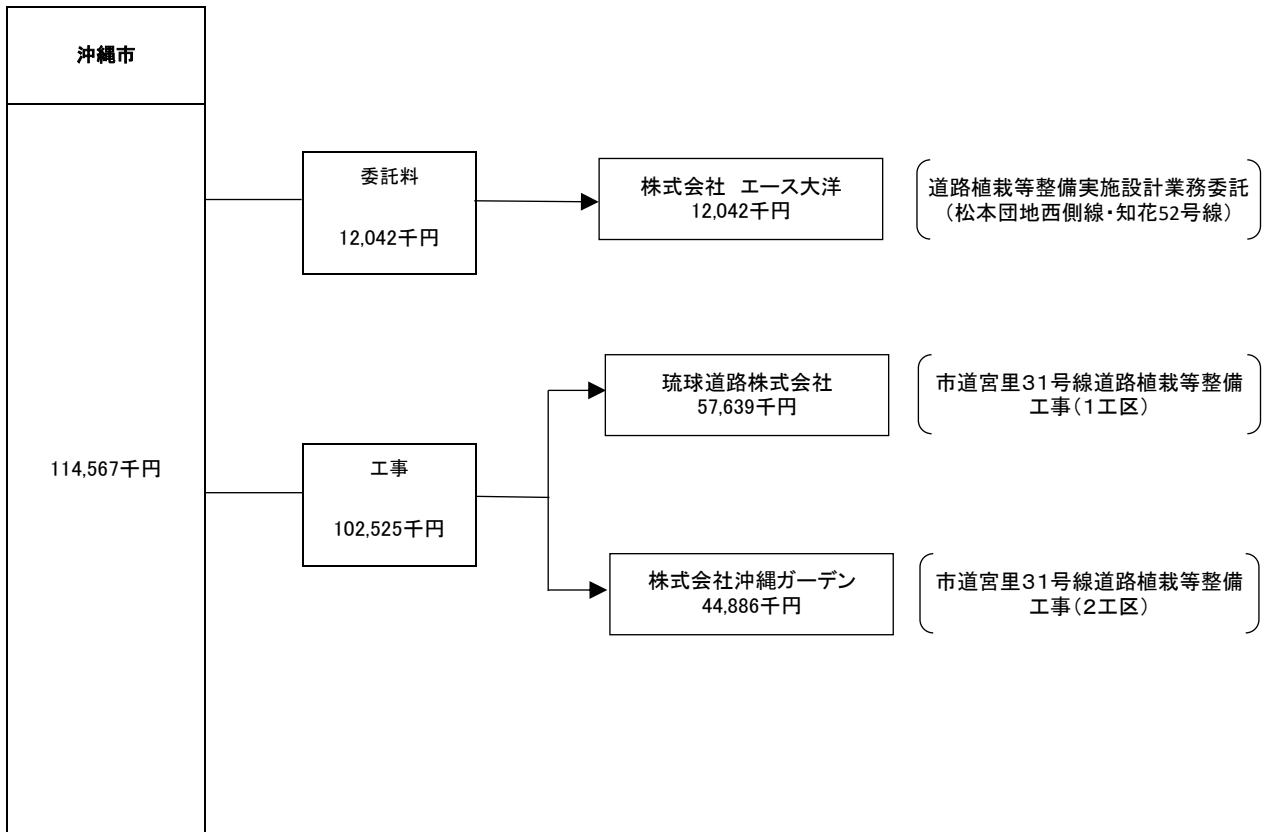
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は一般競争入札等で選定している為、妥当である ○予算規模は事業計画に準じた内容となっている。 ○費目、用途については随時精査を実施している為、目的に即し、必要なものであると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-①	道路景観形成推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	建設部 道路課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	観光地周辺道路を植栽整備することにより、沖縄らしい風景づくりを行い、魅力的な観光地としての景観形成を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	214,254	139,110	107,000	10,033	139,216	
		(b) 予算現額	154,988	115,496	107,000	10,033	114,616	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 59,266	▲ 23,614	0	0	▲ 24,600	
		(d) 繰越額		30,446	0	0	0	
		A. 計(b+d)	154,988	145,942	107,000	10,033	114,616	
		B. 執行済額	152,545	138,216	99,486	8,124	114,567	
		うち交付金充当額	122,036	110,572	79,589	6,499	83,529	
		次年度繰越額	30,446	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	98.4%	94.7%	93.0%	81.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	当初予算額と予算現額との差額(24,600千円)については、植栽樹木、支障木伐採、カラーアスファルト合材等の単価が予算要求時と工事発注時で異なり、工事価格と予算額に差が生じたためである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	①道路植栽等整備実施設計(松本団地西側線・知花52号線)	目標	(    )	(    )	(    )	( 2路線 )		
		実績				2路線		
	①市道宮里31号線道路植栽等整備工事(1工区) ②市道宮里31号線道路植栽等整備工事(2工区)	目標	(    )	(    )	(    )	( 1路線 )		
実績					1路線			
達成状況説明	道路植栽等整備実施設計は、当初予定していた2路線の設計を完了、道路植栽等整備工事は当初予定していた1路線を完了しており、目標を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含めアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(    )	(    )	(    )	( 80%以上 )	(    )	
		実績				-		
	【別添目標】 景観形成1年経過後の目標として、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)について道路利用者(観光客等)へアンケートを行い、本事業のあり方について検証する。	目標	(    )	(    )	(    )	(    )	( 80%以上 )	
		実績						
進捗状況説明	R2年度に整備工事箇所周辺の観光地等にて、道路利用者(観光客)へのアンケートを予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりアンケートを実施できなかったことから、景観形成1年経過後の令和3年度に、道路利用者(観光客)へアンケート実施を図る。							

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度に安慶田中学校線、R2年度に宮里31号線が整備完了しており、R3年度に宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線、知花52号線の整備を完了することにより、観光誘客の効果が発揮できると考えている。</li> <li>・整備後の道路利用者(観光客)への対面でのアンケートは、新型コロナの影響により困難なことから、他の事業効果検証方法について検討を行う必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度は4路線(約2,800m)の整備を予定していることから、工程に遅れが生じないように工程管理を緻密に行う。</li> <li>・整備後の道路利用者(観光客)への対面でのアンケート実施以外の事業効果検証方法として、事業地周辺の宿泊施設や観光施設の協力を得た上で、書面によるアンケート実施等について検討を行う。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<p>実施設計が完了している宮里34号線、国税庁西側線、松本団地西側線、知花52号線の植栽等整備工事をR3年度に行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
114,567	114,567	83,529	31,038	0

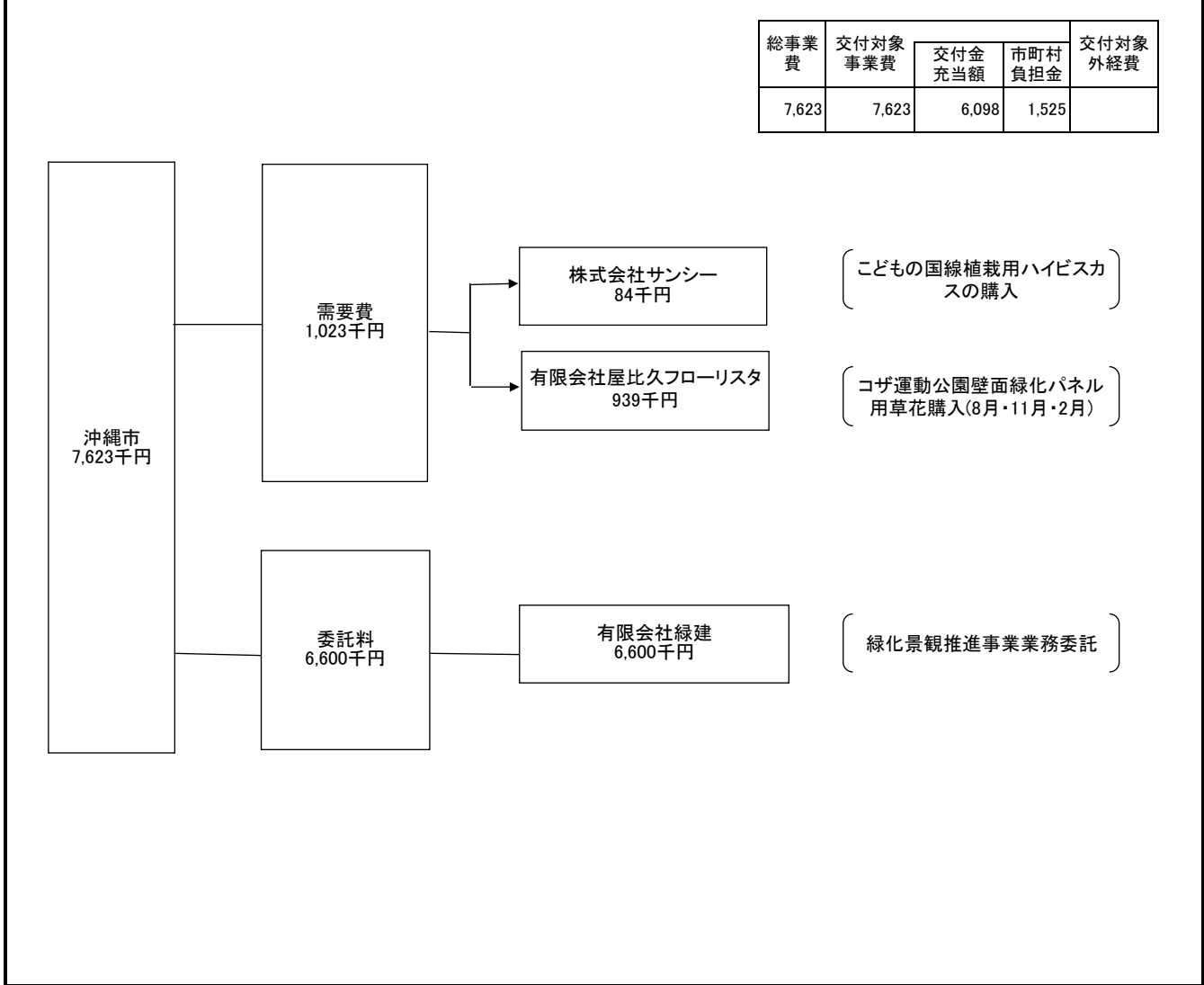


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約の相手方は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は100%であり、予算規模は適正と考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	緑化景観推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部署名	建設部 建築・公園課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	観光地周辺道路へ亜熱帯植物の配置、道路に面している公園側の壁面緑化パネルの花の植付を行うことで、沖縄らしい風景を創出し、魅力的な観光地としての景観形成を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額			4,107	7,479	8,089
		(b) 予算現額			4,107	7,479	8,089
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	0	0	4,107	7,479	8,089	
	B. 執行済額				3,771	7,063	7,623
	うち交付金充当額				3,019	5,650	6,098
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	91.8%	94.4%	94.2%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行しており、不用額は入札差額金によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・壁面緑化パネルに季節の花を入替える。(3回)	目標	(    )	( 3回 )	( 3回 )	( 3回 )	
		実績		3回	3回	3回	
・プランターの設置(70基) ・亜熱帯植物(ハイビスカス)の植栽(140本)	目標	(    )	( 430本 )	( 70基 140本 )	( 70基 140本 )		
	実績		430本	70基 140本	70基 140本		
達成状況説明	コザ運動公園の壁面緑化パネルに8月、11月、2月の3回季節の草花を植え替えた。こどもの国線へ、ハイビスカスを植栽したコンクリートプランター70基(2本/基)を設置した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	・魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(    )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(    )
		実績		73%	80.10%	81.13%	
	【参考指標】		目標	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
進捗状況説明	・アンケートについては、本市の玄関口である沖縄南インターチェンジ前に位置するコザ運動公園において、2月に実施した。集計した結果、目標に達した。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化パネル草花の配置による模様を工夫することで目標を達成できたため、引き続き草花の配置を工夫した模様デザインを継続する。</li> <li>こどもの国線の延長750mの内にR1は250mに70基設置した。R2年は250mから500mの間に道路植栽プランターを70基設置し、R3年に残りの250mに植栽プランターを70基設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花の色によるコントラストを工夫して、花文字や沖縄ならではのミンサ模様など目を引くように草花を配置する。</li> <li>沖縄らしい景観形成を図るため、植栽プランターが未設置の場所に、一定の間隔を保ちながらプランターを設置して範囲を拡大する。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>緑化パネルについては、花の色とコントラストを生かした配置を工夫して、魅力的な景観形成を図る。</li> <li>ハイビスカスを植栽したコンクリートプランターを歩行の妨げにならないように設置範囲を延長して、道路沿線の緑化に取り組む。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、指名競争入札により決定しており妥当であると考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業務費の積算については、積算歩掛け等により適正に行っている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、委託業務完了後に支出等に関する書面により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	沖縄市							
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	こども科学力育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-(イ)				
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度 平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進				
事業内容	科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学イベントや科学体験ワークショップの実施、学校等における出前科学教室の開催や科学クラブの活動支援を行い、こどもたちの科学への興味関心を引き出す。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	38,402	25,272	21,866	17,680	15,000	
		(b) 予算現額	35,000	25,272	21,866	17,680	15,000	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,402	0	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	35,000	25,272	21,866	17,680	15,000	
		B. 執行済額	32,966	20,892	18,174	17,680	15,000	
		うち交付金充当額	26,372	16,713	14,538	14,144	12,000	
		次年度繰越額	0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	94.2%	82.7%	83.1%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	予定していた通りの事業実施ができ、不用額は生じなかった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	①科学イベント開催 ②出前科学教室 ③科学研究支援		<b>目標</b> ( ①3回 ②30回 ③100コマ )	( ①3回 ②30回 ③100コマ ④6校 )	( ①3回②30回 ③120コマ ④6校 )	( ①1回 ②96コマ ③6校 )		
		<b>実績</b> ①5回 ②31回 ③169コマ	①6回 ②30回 ③129コマ④6校	①3回 ②38回 ③216コマ ④6校	①0回 ②195コマ ③6校			
	達成状況説明	・サイエンスフェスタ等のイベントは新型コロナ感染拡大防止対策のため、中止とした。 ・出前科学講座等は幼小中の臨時休校により開始が遅れたが、周知活動と日程調整の工夫で目標数を達成した。 ・科学研究支援では、小学校4、中学校1の科学クラブ・科学部の研究支援を行い、その児童生徒らの探究心や向上心を高める活動を支援できた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	・参加児童生徒の科学への興味・関心が高まったか(95%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	(      ) ( 93%以上 )	( 95%以上 )	( 95%以上 )	(      )	
			実績	/	95%	97%	97%	/
			目標	(      ) (      )	(      )	(      )	(      )	
			実績	/				/
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による臨時休校で、令和2年度の事業開始は大分遅れたが、感染防止対策をしっかりと行い、それを説明しながらの事業周知を行い、回数やアンケートの回答内容からも、「受講して良かった」という意見が多かった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知度が高まり、「出前科学教室」の申込数は安定している。一方、申込日程調整に工夫をしているが、まだ学校により利用の偏りがある。</li> <li>・多くの学校に出前教室を利用して頂いた。今後も継続して授業と連携させたプログラムを構築するとともに、感染対策をさらに強化して安心して受講できる環境作りが必要。</li> <li>・アンケートによる満足度が高水準にあるので、これまで事業改善してきた方向性が妥当だったと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き各学年の単元を包括できる方向性で出前科学教室プログラム数の拡充を図り、科学がより分かりやすいものになるよう努める。また、科学的な思考、論理的思考力の向上に繋がるプログラムの考案に努める。</li> <li>・R2年度は臨時休校により、事業の開始が遅れたため、より効率的な日程調整が必要となったが、各学校の日程が他校にも見えるタイムテーブルを使用したことにより、調整・連携がより円滑に行えたため、今後も継続して活用する。</li> <li>・本事業利用者アンケートでは、プログラム内容について97%が「楽しかった」と好評価だった。参加プログラムに対する評価も「わかりやすかった・まあまあわかりやすかった」が93.9%と前年度より2%程伸びており、効果がでていると考えられ、今後も、高い満足度を継続できるよう努めたい。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

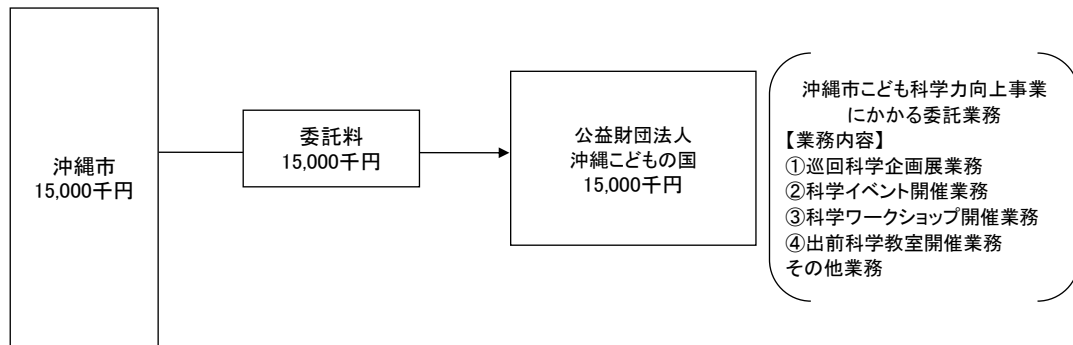
・教育機関等と連携し、本県および本市における理科教育について情報交換を図り、出前科学講座プログラムの内容をさらに充実させ、より子ども達や学校のニーズに応える事で、学校の理科授業への関心を高め、本市全体の科学力育成につなげていく。

・小学校の科学クラブや中学校の科学部の活動を支援し、児童生徒の科学意識や関心、探究心や向上心がより一層、高まる効果がでるよう取り組む。

・出前講座対応可能スケジュールと各学校のスケジュールをお互いに共有し、学校との調整をしやすくし、出前科学講座等の日程調整の改善について検討し実施をしていく。また、未実施校へのアプローチも行っていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
15,000	15,000	12,000	3,000	0

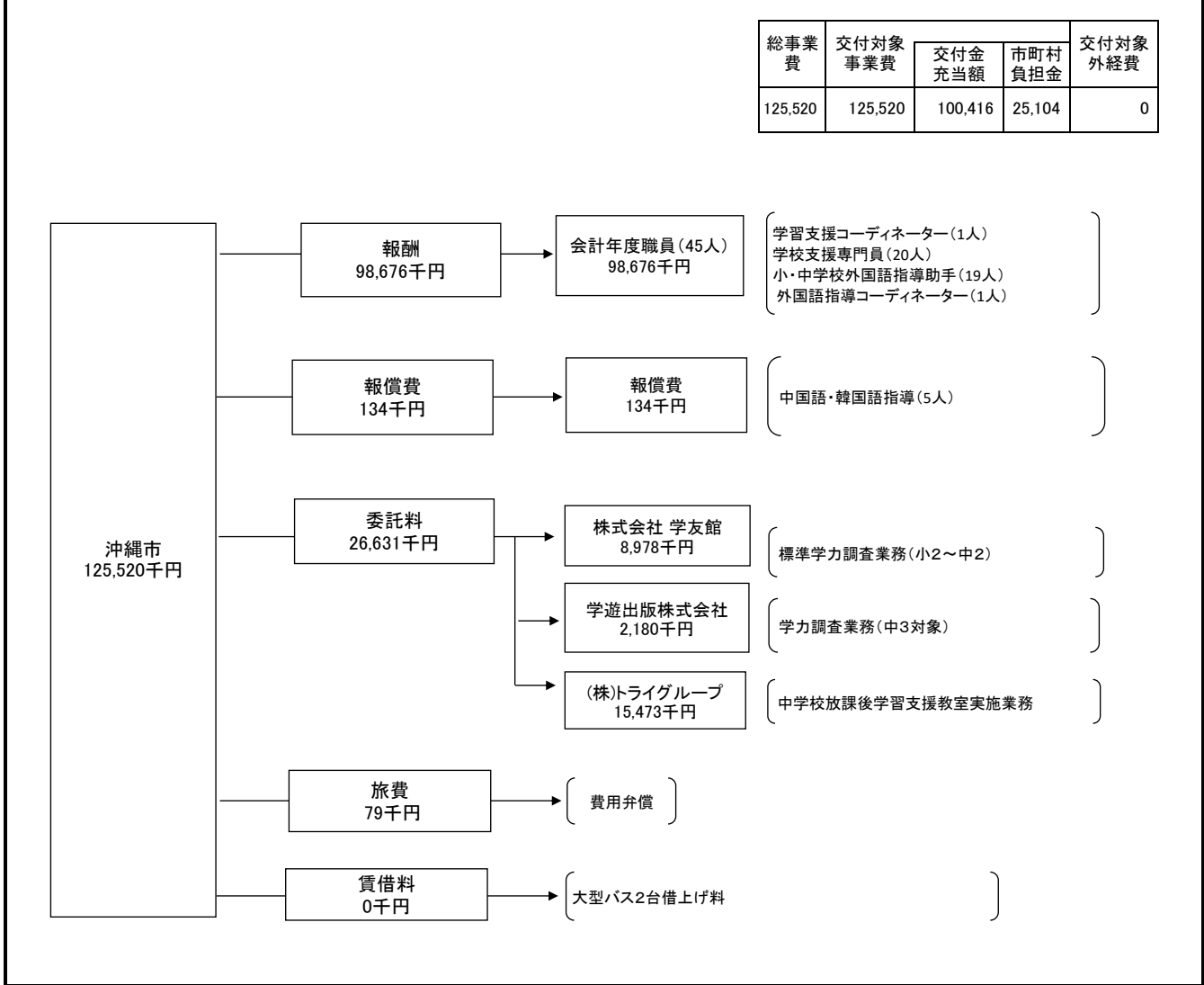


資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託者は、財務規則に則って選定しており妥当であると考え。 ○予算規模について、前年度までの実績及び事業計画に基づき精査等を行っており、適正な規模となっている。 ○費目・使途について、事業内容を達成するために必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-②	児童生徒の「わかる・意欲・学ぶ」を支援する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-(ア)			
担当部署名	指導部 指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	学校支援専門員、教育補助者、外国語指導助手等を配置し、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うことで、学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		(a)当初予算額	165,630	163,582	161,264	162,958	133,097	
	(b)予算現額	149,104	160,051	161,264	162,958	131,221		
	(c)増減額(b-a)	▲16,526	▲3,531	0	0	▲1,876		
	(d)繰越額	0	0	0	0	0		
	A.計(b+d)	149,104	160,051	161,264	162,958	131,221		
	B.執行済額	140,487	150,194	144,510	148,962	125,520		
	うち交付金充当額	112,389	120,154	115,607	119,169	100,416		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	94.2%	93.8%	89.6%	91.4%	95.7%		
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業中止等で借上料や県外旅費の未実施により補正減額を行った。また、不用額5,701千円は、新型コロナウイルス感染症の影響で放課後学習支援教室(5,613千円)及び報償費の減などによるものである。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度※参考	H30年度※参考	R1年度※参考	R2年度		
	目標		①4人 ②25人 ③24人 ④5人	①4人 ⑥1人 ②25人 ⑦10校 ③24人 ⑧開催 ④5人 ⑨1回 ⑤1人 ⑩8校	①4人 ⑥1人 ②25人 ⑦10校 ③24人 ⑧3回 ④5人 ⑨1回 ⑤1人 ⑩8校	①1回 ⑥1人 ②1回 ⑦4人 ③8校 ⑧12人 ④1人 ⑨7人 ⑤20人 ⑩9人		
	実績		①4人 ②25人 ③24人 ④5人	①4人 ⑥1人 ②25人 ⑦8校 ③23人 ⑧3回 ④5人 ⑨1回 ⑤1人 ⑩8校	①4人 ⑥1人 ②25人 ⑦9校 ③22人 ⑧3回 ④5人 ⑨1回 ⑤1人 ⑩9校	①1回 ⑥1人 ②1回 ⑦4人 ③8校 ⑧12人 ④1人 ⑨7人 ⑤20人 ⑩9人		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語指導員、外国語指導助手、学習支援員は予定の人員配置ができ目標が達成できた。</li> <li>教職員(学力向上推進担当者)への研修会を3回実施できた。</li> <li>外国語クラブは7校、中学校放課後学習支援教室8校で実施できた。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本市との平均正答率の差 小学校:県との差±0ポイント以内を目指す。		目標	( )	( -1ポイント ) 以内	( 小学校 ) ( 0ポイント ) 以上	( 小学校 ) ( ±0ポイント ) ト以上	( )
			実績		県との差 1.6ポイント	県との差 +0.9ポイント	県との差 -0.8ポイント	
	中学校:県との差 -2ポイント以内を目指す		目標	( )	( -3ポイント ) 以内	( 中学校 ) ( -2ポイント ) 以内	( 中学校 ) ( -2ポイント ) 以内	( )
実績				県との差 -1.1ポイント	県との差 -2.2ポイント	県との差 -1.4ポイント		
進捗状況説明	<p>小学校においては、学習支援員を全校に配置し、授業や補習時間における個別支援等により、個に応じた学習支援がなされ、概ね目標を達成できた。</p> <p>中学校においては、中学校放課後学習支援教室を8校で実施し、学力の底上げを中心に主体的に学びたい児童も参加することで学習意欲の向上を図ることができた。また、令和2年度からは、学習支援員を中学校2校に配置し、通常の授業の中での個別支援により基礎的基本的な学習内容の定着を図ったことで、県平均との差が目標を上回った。</p> <p>各種学力調査の結果分析により、各学校において授業の改善が図られたことが、目標達成の要因の一つである。</p>							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校放課後学習支援教室に年間を通して参加する生徒が少ない。参加させたいという教師や保護者の思いと、生徒の参加意欲に乖離が生じている。</li> <li>・各種学力調査の結果から、基礎的な知識・技能よりも、問題解決の方法などを相手に説明するために必要な思考力・判断力・表現力に課題がある。</li> <li>・事業の認知度が高まり、基地内学校からの転入が増えている。</li> <li>・外国語指導助手と教師のチームティーチングにおいては、小学校では研修会での反省を生かした取り組みが定着しつつある。中学校では打ち合わせの確実な開催が継続的な課題で、生徒の気づきを促す授業を増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の授業の中で、困り感のある児童生徒への学習支援員の関わり方や支援方法について、研修会や支援の様子を観察や他者への助言を通して支援員の資質向上が図られ、支援員の思考力、判断力、表現力の向上につながると考える。</li> <li>・放課後学習支援教室へ主体的に参加する生徒を増やすため、普段の授業後にも問いが生まれるような授業改善を図ることが必要である。</li> <li>・日本語指導は指導法や教材を常に改善し工夫することでより効率的な支援をおこなう必要がある。</li> <li>・ALTとの英語の授業は、授業内容の着実な共通理解のもと、授業打ち合わせを進める必要がある。</li> </ul>
	<b>今後の取り組み方針</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上推進と研究主任の合同研修会や学習支援員研修会において、日常の授業改善や個別最適な支援の在り方についての実践方法を協議したり、講師を招いた学習会の開催により、課題としている思考力、判断力、表現力の育成を図る。</li> <li>・放課後学習支援教室は、委託業者と学校が密に連携し、授業や放課後教室時の生徒の様子などを担任と共有して、生徒に関わる多くの人が生徒のよさを認め励ますことで、生徒の自己肯定感を高め学習意欲の向上を図る。</li> <li>・日本語指導は支援の申請が増加傾向にあるため、支援目標を常に確認し、教材や指導方法の改善と効率的な支援につなげ、対象となる児童生徒が各学校にて学校生活や授業に適應できるよう取り組む。</li> <li>・しっかりとした計画をもとに外国語指導助手と教師が授業を進めることで、英語でのコミュニケーション能力がより向上する授業を目指す。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度職員は公募により選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○報酬、賃金及び報償費については、市の規程に基づく単価により積算した。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託費については、公募型プロポーザル方式により選定しており、目的に即し適正なものとなっている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的に即しており、必要なものに限定されているかを確認した上で、支出している。

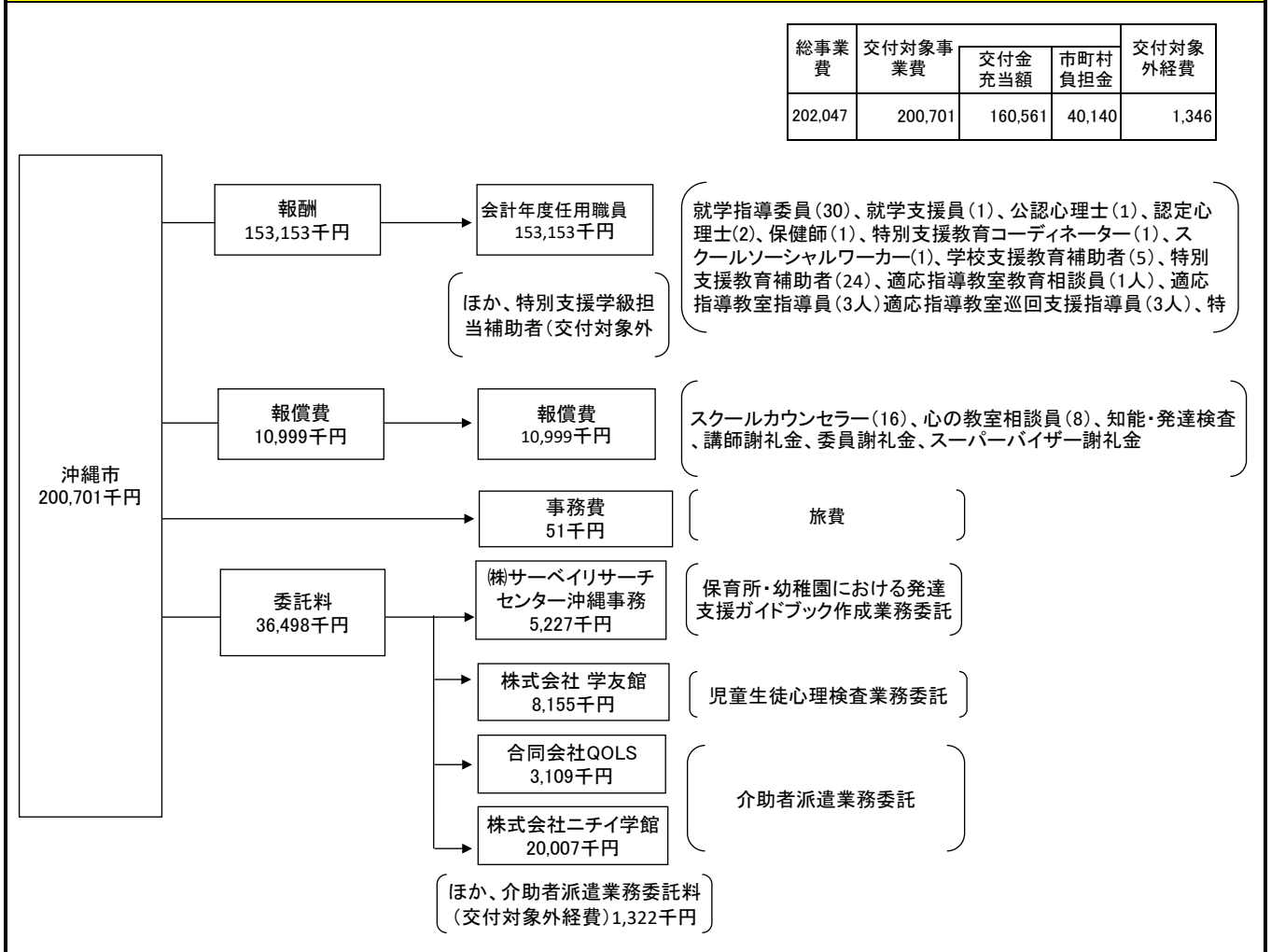
市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	気になる子等の学びを支援する事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部署名	指導部 指導課 指導部 市立教育研究所 こどものまち推進部 保育幼稚園課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対応した支援を行うことで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。また、不登校や学力不振の児童生徒への登校支援、学習支援を行うことで、不登校の改善を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	255,993	247,736	271,228	227,021	225,871
	(b) 予算現額	198,617	226,537	211,060	227,021	213,208	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 57,376	▲ 21,199	▲ 60,168	0	▲ 12,663	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	198,617	226,537	211,060	227,021	213,208	
	B. 執行済額	190,313	197,869	191,619	168,961	200,701	
	うち交付金充当額	152,250	158,294	153,295	135,168	160,561	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	95.8%	87.3%	90.8%	74.4%	94.1%	
予算の状況の説明	不用額(12,507千円)は、特別支援教育の介助者派遣の執行差額及び学校支援教育補助者の未配置に伴う人件費の減や会計年度任用職員の任用資格差額による減額、幼稚園における幼稚園特別支援教育補助者等の当初配置予定人員数を確保できなかったことが主な理由となる。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度※参考	H30年度※参考	R1年度※参考	R2年度	
	目標		③33人 ④14人 ⑥2人 ⑦1人 ⑧3人 ⑨16校 ⑩8校 ⑪1人 ( ⑫16人 ⑬37人 ) ・1人・1人 ⑭2人 ⑮2人 ⑯4人	③36人 ④18人 ⑥3人 ⑦1人 ⑧ 16校 ⑩8校 ⑪1 人 ⑫16人 ⑬38 ) 人・1人・1人 ⑭2人 ⑮2人 ⑯4 人	③36人 ④7人 ⑤1人 ⑥3人 ⑦1人 ⑧16校 ⑩8校 ⑪1人 ( ⑫10人 ⑬33 ) 人・1人・1人 ⑭ 2人 ⑮2人 ⑯4 人	①30人 ⑨5人 ②1人 ⑩1人 ③2人 ⑪3人 ④1人 ⑫3人 ( ⑤1人 ⑬1人 ) ⑥1人 ⑭36 ⑦24人 人 ⑧1人 ⑮7人	
	実績		③41人 ④19人 ⑥2人 ⑦1人 ⑧3人 ⑨16校 ⑩8校 ⑪1人 ( ⑫10人 ⑬38 ) 人・1人・1人 ⑭2人 ⑮2人 ⑯4人	③30人 ④18人 ⑥ 2人 ⑦1人 ⑧16校 ⑩8校 ⑪1人 ⑫9 ( ⑬36人・1人 ・1人 ⑭2人 ⑮2 人 ⑯4人	③33人 ④7人 ⑤0人 ⑥3人 ⑦1人 ⑧16校 ⑩8校 ⑪1人 ( ⑫10人 ⑬25 ) 人・1人・1人 ⑭ 2人 ⑮2人 ⑯4 人	①30人 ⑨4人 ②1人 ⑩1人 ③2人 ⑪3人 ④1人 ⑫3人 ( ⑤1人 ⑬0人 ) ⑥1人 ⑭36 ⑦24人 人 ⑧1人 ⑮3人	
	目標		( )	( )	( )	( )	
	実績		( )	( )	( )	( )	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理士や保健師、学校支援教育補助者は概ね配置できた。特別支援教育の介助者派遣は、予定通り配置できた。スクールカウンセラーや心の教室相談員は予定校へ配置することができた。</li> <li>・特別支援教育補助者は4月当初からの人材確保に難航したが、社会福祉協議会との連携に努め、予定人数を確保することができた。</li> <li>・教育相談員、適応指導教室指導員、巡回支援指導員を予定通り配置することができた。</li> <li>・幼稚園への特別支援教育担当については、HPやハローワークへの求人に加え市主催の合同就職説明会に2回参加する等の取り組みを行うことで、園児の特性に対応した体制づくりが概ね達成できた。しかし、幼稚園特別支援アドバイザーについては、配置することは出来なかったため、引き続き配置に努めていきたい。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	①対象となる児童生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度70%以上		目標 ( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 70%以上 )	( )
			実績	70.27%	75.8%	83.1%	
	②不登校児童生徒登校復帰率21%以上		目標 ( )	( 15%以上 )	( 15%以上 )	( 21%以上 )	( )
		実績	16%	37%	22.50%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる児童生徒の保護者へのアンケートにおいて、支援による学習面及び学校生活面での効果、学校等との連携について、「非常に効果があった」「効果があった」との回答が平均83.1%であった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響の中、心の教室相談員、スクールカウンセラーの配置が十分に行えた事により、学習・行動面で気になる児童生徒や家庭環境等で気になる児童生徒との相談活動・支援等について学校職員と連携して行う事ができた。また、学校支援教育補助者を全中学校に配置することにより、登校しぶり・不登校等の児童生徒への支援が充実し、目標以上の登校復帰率となった。</li> <li>・幼稚園では、発達の状況に応じた教育の実施状況について保護者アンケートを行い、全園平均で97%の保護者が満足している結果となり、目標を達成した。</li> </ul>						

	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育関連事業では、令和元年度の予定採用よりも、希望者が少なく、支援する児童生徒の数が多く、1人で10人以上の児童生徒を担当している状況が続いている。</li> <li>不登校児童生徒へ支援に取り組んできたが、不登校の要因として家庭に係る状況が大きく、新規の不登校が増加している状況である。</li> <li>コロナ禍による休校などにより支援できないことがあった。</li> <li>保護者アンケートの結果から保護者満足度は高く、事業内容については高評価を得ていると考えるが、特殊な職種ということもあり、幼稚園特別支援アドバイザー(心理士)が配置できていないため、引き続き配置に努めるとともに関連部署や指導主事と連携し、担当者の資質向上に繋げていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育補助者の雇用形態を工夫し、人材確保に努める。また、支援の優先順位等を示し、より効果的に支援員配置できるよう検討する。</li> <li>関係者の連携のもとに気になる子へアプローチを継続するとともに、不登校児童生徒への支援として、登校復帰のみならず、社会的な自立も含めた支援を検討していきたい。</li> <li>ICTを活用した支援方法を検討する必要がある。</li> <li>幼稚園特別支援アドバイザー(心理士)の配置に向け、求人方法について検討する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・支援対象となる児童生徒に対する支援内容や支援レベルに応じた適正配置を行う。  
 ・特別支援教育の充実を図るため、研修会等を実施し、補助者のスキルアップを図るとともに、関係機関と連携した相談体制や支援体制を構築する。  
 ・学校支援教育補助者、スクールカウンセラー、心の相談員等との連携を深め、継続して支援が必要な児童生徒へアプローチする。  
 ・前年度から継続している不登校児童生徒への支援として、登校復帰だけを目標とせず、社会的自立も見据えた支援の在り方を検討し、児童生徒と家庭も含めた社会的自立への支援ができるよう関係機関との連携を図る。  
 ・タブレットPCを活用した支援など学習機会の確保を図る。  
 ・関連部署や指導主事と連携し、幼稚園の後方支援を行うとともに幼稚園特別支援アドバイザー(心理士)の配置に向けて、教育機関への求人案内や就職説明会での求人案内等、これまでと違ったアプローチで求人を行い、配置に努める。また、引き続き、支援等の効果を検証する為に保護者へのアンケート等を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



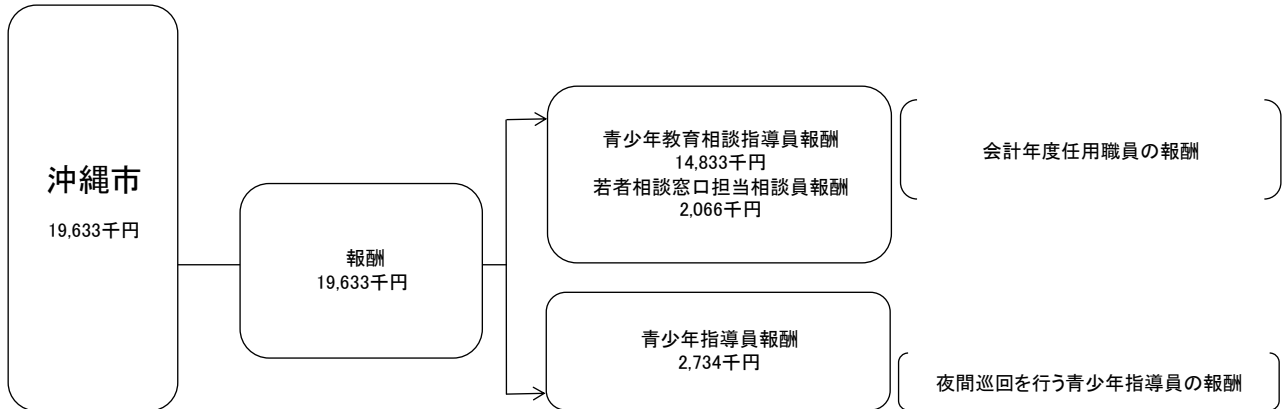
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は公募型プロポーザル方式により、組織体制、実績、技術・知識・金額等を勘案したうえで審査し、選定している。 ○予算規模も目的に即し適正なものとなっている。 ○気になる子への支援に要する人件費や心理検査業務委託料など、事業目的に即し真に必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④		青少年等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-ウ	
	担当部署名	指導部 青少年センター		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・若者の育成支援
事業内容		青少年の健全育成を図るため、青少年指導員による夜間の街頭指導や青少年教育相談指導員による教育相談や登下校の巡回指導、各種体験活動等を行った。また、若者相談窓口担当相談員を設置し、困難を有する若者の自立や非行に関して悩みを抱えている家族や本人等に対し、相談支援を行った。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,375	27,529	27,738	25,438	23,306
		(b) 予算現額	29,229	27,529	27,738	25,438	20,820
		(c) 増減額(b-a)	▲ 146	0	0	0	▲ 2,486
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		29,229	27,529	27,738	25,438	20,820
	B. 執行済額		28,859	26,269	25,091	23,746	19,633
	うち交付金充当額		23,086	21,015	20,072	18,997	15,706
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.7%	95.4%	90.5%	93.3%	94.3%
予算の状況の説明		予算現額については、コロナウィルス蔓延防止のため、4、5、8、9月分青少年指導員の夜間巡回中止により減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	青少年教育相談指導員配置 7名	目標	( 8名 )	( 8名 )	( 8名 )	( 7名 )	
		実績	8名	8名	8名	7名	
	青少年指導員配置 述べ1120人	目標	( 2417人 )	( 2417人 )	( 1760人 )	( 1120人 )	
		実績	3447人	3339人	2346人	905人	
若者相談窓口担当相談員配置 嘱託職員1名	目標	( 1名 )	( 1名 )	( 2名 )	( 1名 )		
	実績	1名	1名	1名	1名		
達成状況説明	青少年教育相談指導員については、7名の配置ができた。青少年指導員の配置については、新型コロナウイルスの影響により、緊急事態宣言が発令されていた4、5、8、9月を中心に夜間街頭指導が中止になる日が多かったため、目標1120名を達成することができなかった。若者相談窓口担当相談員については、目標値1名を配置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	午前・午後巡回指導件数 前年度比22.75%減	目標	( )	( 8.5%減 )	( 27.2%減 )	( 22.75%減 )	( )
		実績	/	10.3%減	48.6%減	9%増	/
	夜間・合同街頭指導件数 前年度比9.4%減	目標	( )	( 4.6%減 )	( 9.8%減 )	( 9.4%減 )	( )
		実績	/	23.2%増	29%減	51%減	/
	若者の主訴改善件数 11件以上	目標	( )	( )	( 25%増 )	( 11件以上 )	( )
実績		/	/	88%増	25件	/	
進捗状況説明	・午前・午後巡回指導件数は、前年比9%増となり、目標を達成できなかった。 ・夜間・合同街頭指導件数は、前年比51%減となり、目標を達成できた。 ・若者の主訴改善件数は、25件となり、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前・午後巡回指導件数は、前年55件から60件(前年比9%増)と5件の増加となった。コロナウィルス蔓延防止のための緊急事態宣言に伴う学校休校により、指導件数が増えたと考えられる。休校や学校の授業時間短縮が行われた場合、日中の巡回を強化していく必要がある。</li> <li>夜間・合同街頭指導件数は、前年比51%減となったが、これは、コロナウィルス蔓延防止のため、夜間街頭指導の回数が減ったためと考えられる。純粋に夜間の深夜徘徊が減った訳ではないと考えられるので、継続して夜間街頭指導巡回を行っていく必要がある。</li> <li>若者の主訴改善件数は、25件と前年度より件数が増えている。年々、相談件数は増えており、若者相談窓口の相談体制を継続していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前・午後の巡回については、学校や地域、警察等と情報共有を行い、継続的に実施する。</li> <li>青少年指導員による夜間巡回については、コロナウィルスの蔓延等社会状況の厳しさはあるが、感染防止対策をしっかりと行いながら、巡回回数を確保する。</li> <li>若者相談窓口については、年々相談件数が増え、また相談内容も複雑化・多様化しているため、担当相談員の増員や相談員の研修を強化することが考えられる。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>午前・午後巡回については、巡回の回数は維持しつつ、青少年教育相談指導員が対応する児童生徒の来所や訪問の回数を増やし、青少年の学校復帰に繋げるよう取り組んでいく。</li> <li>地域・学校・行政が連携し、夜間街頭指導巡回により、深夜徘徊の危険に対し、地域の見守りがあることを意識づけする予防的な巡回を確実に実施していく。</li> <li>若者相談窓口の担当相談員の研修の機会を増やすとともに、関連する他機関との連携を強化する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
19,633	19,633	15,706	3,927	0



資金の 用途の 流れ 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○青少年指導員は、市内小中学校や各自治会からの推薦を基に委嘱しており、適切に選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○報酬は市の規程に基づく単価となっており、予算規模は事業内容に見合った適正なものとなっている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業内容を達成するために必要なものであり、活動状況に応じた必要最小限の支出となっている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

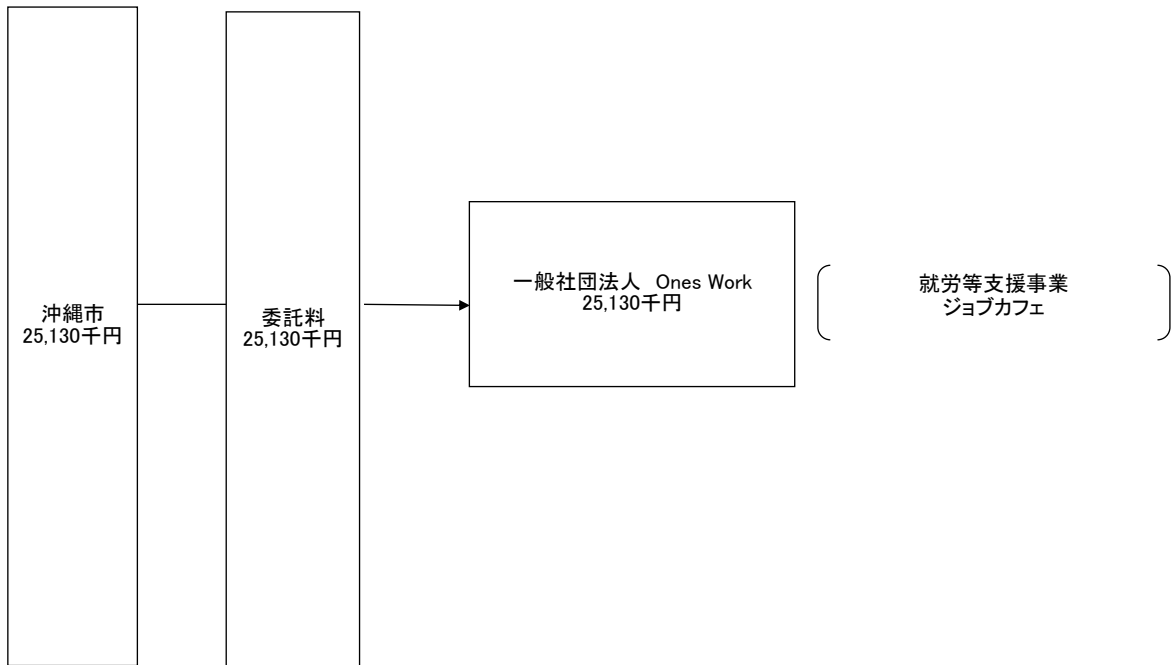


市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	就労等支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア		
	担当部署名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者の支援 Ⅲ-2	
事業内容	若年者や子育て世代等、個々に応じた就労相談や各種講座等の実施、企業の雇用環境の改善に向けたセミナー等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	49,918	51,550	37,413	37,976	29,983
	(b) 予算現額	49,996	51,719	37,413	37,976	29,983	
	(c) 増減額(b-a)	78	169	0	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	49,996	51,719	37,413	37,976	29,983	
	B. 執行済額	44,199	48,894	36,924	36,674	25,130	
	うち交付金充当額	35,358	39,114	29,537	29,338	20,103	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	88.4%	94.5%	98.7%	96.6%	83.8%	
予算の状況の説明	本事業は年間を通じて業務委託を行っており、不用額の発生理由は、交付対象期間内の執行における残額及び概算契約の精算による残額であり、当初計画していた事業内容を適切に実施している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	就労相談	目標	( 2,000人 )	( 2,000人 )	( 2,000人 )	( 2,500人 )	
		実績	3,830人	3,258人	3,860人	4,965人	
	職場体験	目標	( 35件 )	( 35件 )	( 35件 )	( 35件 )	
		実績	44件	51件	51件	43件	
	学校における職業人講話、マナー講座等の実施(8校)	目標	(    )	( 8校 )	( 8校 )	(    )	
実績			10校	実施			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労相談について、目標数値2,500人に対し、実績数4,965人と目標を達成した。相談利用者数が増加した要因として、従来の対面による面談以外にも、メール相談やオンライン面談(ZOOM)でも対応可能となったことから結果的に多くの利用につながった。</li> <li>・職場体験のコーディネートは、目標件数35件に対し、コロナ禍の中でも43件実施と目標を達成した。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	就職決定者割合22.7%	目標	(    )	( 47.3% )	( 46.8% )	( 22.7% )	(    )
		実績			50.9%	51.7%	15.2%
	参加者へのアンケートで、職業理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	(    )	(    )	( 80% )	( 80% )	(    )
		実績				96%	94%
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職決定者割合15.2%と目標値に届かなかった理由として、新型コロナウイルスの影響を受け求人数が減少したことから、就職決定者数も影響を受けた。(前年度比マイナス64名)</li> <li>・職業理解については、コロナ禍の中、企業訪問が出来なかったため、「オンライン」にて職場見学や事業説明を実施した。</li> </ul>						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効求人倍率がコロナ禍の影響を受け低下しているが、人手不足の業種もあり、雇用のミスマッチが生じていた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響を受け、自粛要請も出るなど通常行っていたかたちでの支援が難しくなっていたが、必要に応じてツールを使い分け取り組んでいくことが就労相談件数の増加に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人手不足の業種については、職場体験を通し、業務内容や施設、環境などを実際に見学確認をするなど、引き続き求職者の職業理解を促す取り組みが必要である。</li> <li>求職者を就職決定に繋げるため、求職者に対するきめ細やかな支援が求められる。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人に応じたきめ細やかな就労相談を行う。また、企業や関連機関と連携を図り、職場体験支援や企業説明会を実施するなどして、求職者の就職決定に繋げるよう取り組む。</li> <li>雇用情勢や企業のニーズに応じたセミナー等を開催し、雇用に関して活用できる制度等の周知及び助言等を行なう。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
25,130	25,130	20,103	5,027	0

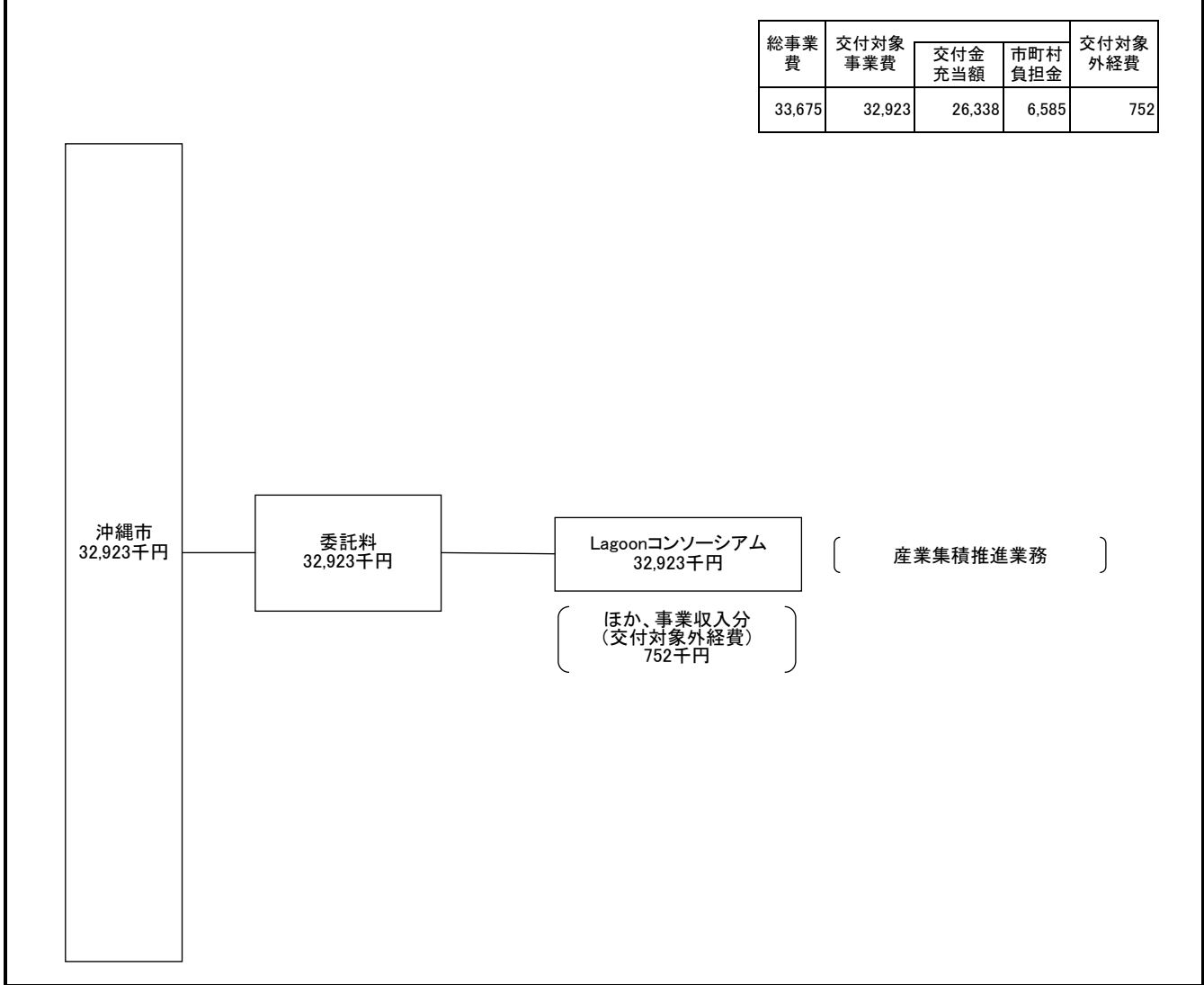


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は経験、知識を特に必要とする特定の者でなければ履行できない随意契約により企業組織、実績、知識等を助案した上で選定しており、該当であったと考えている。 ○予算規模は、事前に業者からの見積書を聴取し内容を精査しており、適正であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	産業集積推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(5)-ア	
担当部署名	経済文化部 企業誘致課	事業実施(予定)年度	令和2～3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	リーディング産業を担う人材の育成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	質の高い雇用の創出や市民所得の向上及び中心市街地の活性化を図るため、中心市街地商店街内の空き店舗を活用して拠点施設を設置し、創業相談窓口の設置やICT人材の育成等の取組を一体的に推進する。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		(b) 予算現額					39,703
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	0	0	0	0	39,703
	B. 執行済額						32,923
	うち交付金充当額						26,338
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	82.9%
	予算の状況の説明		本事業は、年間を通じて業務委託を行っており、交付対象期間(令和2年4月から令和3年2月までの11ヵ月間)の執行における残額及び概算契約の精算による残額となっている。当初計画していた事業内容としては適切に実施している。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	創業支援による創業支援件数(創業相談件数)	目標	(      )	(      )	(      )	( 400件 )	
		実績				448件	
	本事業で育成された人材等の就業件数(プログラミングスクールの開催)	目標	(      )	(      )	(      )	( 3回 )	
		実績				3回	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い事業継続、事業転換の相談が増加した。(年間相談実績:448件) 上記活動のほか、プログラミングスクールを3回開催しICT人材の育成を通じ、就業支援をおこなった。また、スタートアップに関するセミナー、イベントを開催することで、創業、就業に必要な情報提供、周知活動を行った。(開催実績56件、うちオンライン開催49件)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	創業支援者数	目標	(      )	(      )	(      )	( 54件 )	(      )
		実績				66件	
	就業件数	目標	(      )	(      )	(      )	( 42件 )	(      )
		実績				14件	
	進捗状況説明	・創業支援者数は、目標値を超える実績を上げることができた。 ・就業件数は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、求人数自体が低下したことにより、目標をおおきく下まわった。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(創業支援者数) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、資金繰りや事業転換に関する相談が多かったことが、支援件数の増につながったと考えられる。	(創業支援者数) 沖縄よらず支援拠点とのオンラインセミナーのように、創業準備中の方や創業後の方々が共通して学ぶ必要のある内容については、動画などの情報を収集し、「いつでも」、「誰でも」、「どこでも」情報を入手できるような仕組みを構築する必要がある。
	(就業件数) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、企業が求める人材に変化が生じたことや、求人数自体が減ったことが、目標値を達成できなかった要因と考えられる。	(就業件数) 人材派遣を行なっている企業や関係機関、スキルの持った人材を探している企業との連携を充実させる必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>(創業支援者数) 県外・県内のスタートアップ支援機関と連携し、ビジネスプランコンテストのような機会を増やし、アーカイブ動画の充実を図る。</p> <p>(就業件数) 就労支援事業やハローワークと連携し、企業が求める人材を共有し就業件数増につなげていく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

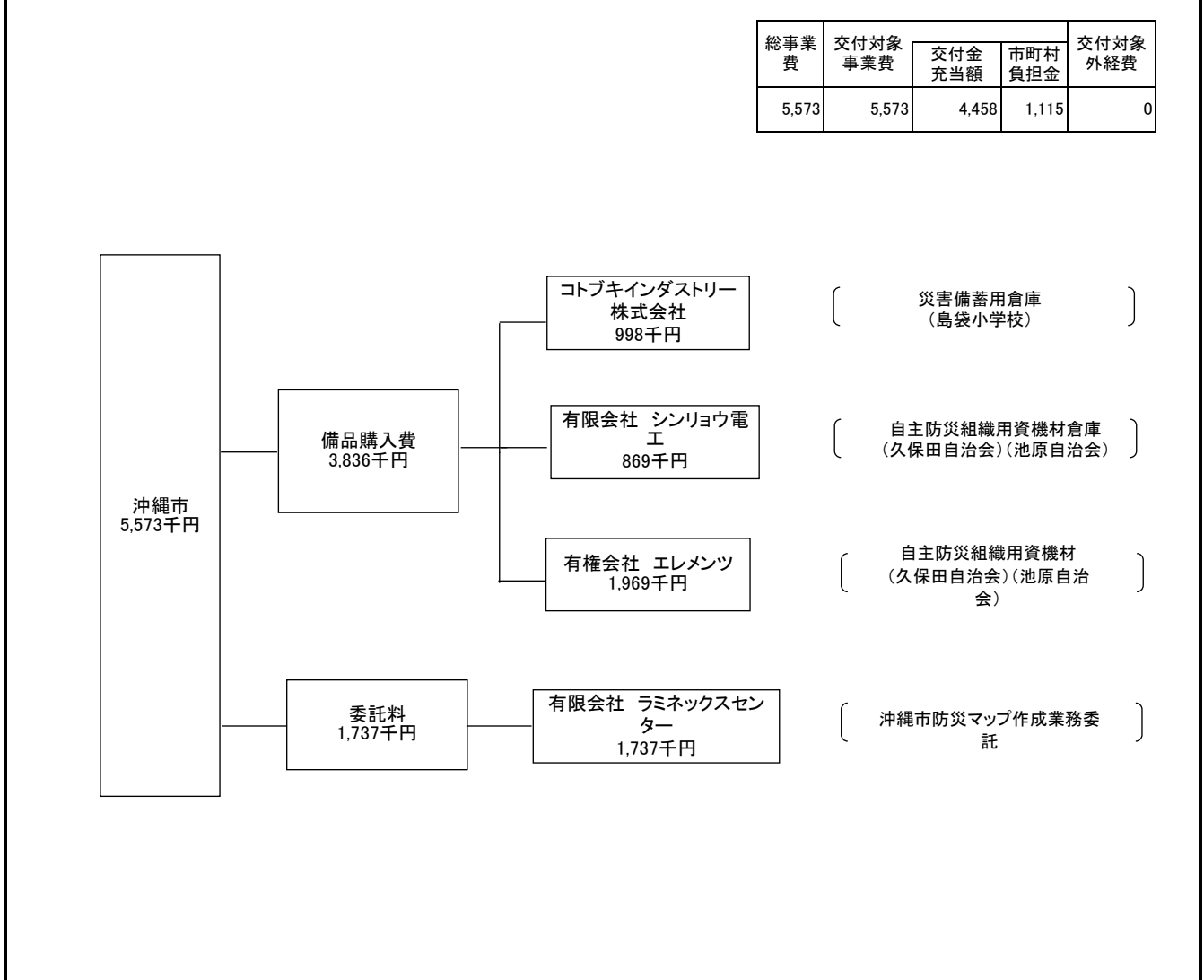


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募により選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い執行できなかった旅費等であり、適正な規模で執行した。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-① 地域防災対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(4)-イ			
	総務部 防災課		事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
担当部署名					Ⅲ-10-(2)			
事業内容	災害に備え、地域防災力を強化するため、継続して自主防災組織の結成促進・育成を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
		(a)当初予算額	324,086	15,919	10,591	9,948	13,833	
	(b)予算現額	289,601	15,919	4,666	5,765	6,518		
	(c)増減額(b-a)	▲34,485	0	▲5,925	▲4,183	▲7,315		
	(d)繰越額							
	A.計(b+d)	289,601	15,919	4,666	5,765	6,518		
	B.執行済額	288,247	13,075	4,425	3,276	5,573		
	うち交付金充当額	230,597	10,459	3,539	2,620	4,458		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	99.5%	82.1%	94.8%	56.8%	85.5%		
予算の状況の説明	自主防災組織の資機材・倉庫を整備するためには、新規の自主防災組織設置が要件となるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から自主防災組織設置に係る説明機会が減少し、当初目標としていた自主防災組織の設置数を下回ったことで資機材等の設置ができなかったことが、主な減額の理由である。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	防災組織の結成(5組織)	目標	( 5組織 )	( 2組織 )	( 5組織 )	( 2組織 )		
		実績	4組織	2組織	2組織	2組織		
	防災組織資機材・倉庫整備(2組織)	目標	( 5組織 )	( 3組織 )	( 2組織 )	( 2組織 )		
		実績	5組織	3組織	2組織	2組織		
	防災備蓄倉庫の整備	目標				( 1カ所 )		
		実績				1カ所		
	ハザードマップの作成	目標				( 1式 )		
		実績				1式		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災組織資機材・倉庫の整備、防災備蓄倉庫の整備、ハザードマップの作成については、目標を達成することが出来た。</li> <li>・自主防災組織の結成については、新たに2組織を結成することができたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、年度間をとおして、自主防災組織の設置に関する説明機会が減少したことにより、当初の目標達成には至らなかった。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	整備した防災資機材等を活用した避難訓練を実施し、整備した資機材が観光客や住民の安全確保に資するか(約80%以上)を含め、訓練参加者に対するアンケートで、本事業のあり方について検証する。		目標	( )	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
			実績			100%	100%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を実施した自主防災組織からは、訓練の効果として、防災資機材取扱い方法や災害時の対応方法等が習得できるとともに、訓練を通じて防災意識が向上した等、訓練を評価する報告を受けている。</li> </ul>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・「防災組織の未設置な自治会等」、「防災組織を設立しているが防災訓練等を未実施の防災組織」、「防災組織を設立し、複数回実施する防災組織」等、地域や防災組織によって防災に関する意識が異なっている。</p>	<p>・「防災組織の未設置」「防災訓練の未実施」「継続した防災訓練の実施」等、各防災組織等の特徴を踏まえた効果的なアプローチを継続するとともに、さらに「防災組織の未設置」の地域の新規の自治会長に対し、より積極的に「自主防災組織の結成」に関する説明を実施した。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・「防災組織の未設置」の地域及び「防災訓練の未実施」の防災組織については、自らの地域は自らで守る重要性や市から防災組織へ行う支援策等の説明を行い、防災組織の設置促進及び訓練等の実施を促進する。また、「継続した防災訓練の実施」の防災組織については、現在の訓練実施状況を維持できるよう支援を行う。</p> <p>・「防災組織の未設置」の地域に対し、令和3年3月等に土砂災害特別警戒区域が新たに指定されたこと等、最新の地域の実情を踏まえてハザードマップで説明を行い、自主防災組織の設置の必要性の説明を行う。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○複数の業者から事業内容にあった見積もりを確認しており、適正な規模と考える ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	平和推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-4-(2)-ウ		
担当部署名	市民部 平和・男女共同課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際協力・貢献活動の推進		
事業内容	沖縄戦の体験や教訓を次世代へ継承し、すべての人が等しく平和で豊かな生活が送れるまちづくりを進めるため、イベント開催やデジタルコンテンツ配信を通して、内外に平和行政の取り組みを発信する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	21,137	10,248	10,838		
		(b)予算現額	21,137	10,268	7,783		
		(c)増減額(b-a)	0	20	▲ 3,055		0
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)	21,137	10,268	7,783		0	
	B. 執行済額	19,892	10,268	7,783			
	うち交付金充当額	15,913	8,214	6,225			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	94.1%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を一般市民向けイベント開催からデジタルコンテンツ配信へ変更したため、予算を減額した。 変更事業計画どおりに事業を実施し、適正に予算を執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	9月7日沖縄市民平和の日記念事業 児童・生徒向けイベント開催	目標	( 8 校 )	8 校	( 8 回 )	( )	
		実績	8 校	8 校	8 回		
デジタル紙芝居制作	目標	( )	( )	( 1 本 )	( )		
	実績			1 本			
達成状況説明	9月7日沖縄市民平和の日記念事業では、児童・生徒向けに平和学習イベントを8校で開催した。デジタル紙芝居を制作し、平和学習コンテンツサイトで配信した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄戦への理解が深まったか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。①イベント ②デジタル紙芝居	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
		実績		93%	94%	①90% ②82%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
	実績						
進捗状況説明	「沖縄戦への理解が深まった」との回答は、平和学習イベント参加者では90%、デジタル紙芝居閲覧者では82%となり、目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦の次世代への継承を推進するためには、沖縄戦について考える機会の創出を図り、様々な世代へのアプローチを継続して行っていく必要がある。</li> <li>・取組内容の周知を強化する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦について考える機会の創出を図るために、イベントを開催する。</li> <li>・自宅にいながら誰でも学べるよう平和学習コンテンツサイトの充実を図る。</li> <li>・多くの市民に取組内容を知ってもらうように広報を強化する。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄戦について考える機会の創出を図るために、令和3年度は沖縄の伝統芸能を活用したイベントを開催する。</li> <li>・平和学習コンテンツサイトの一部英語表記やクイズコーナーを新設するなど、サイト内の充実を図る。</li> <li>・広報はチラシ配布、広報紙、ホームページ、SNSなど活用し、情報発信の強化を図る。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,783	7,783	6,225	1,558	0
<pre> graph LR     A[沖縄市 7,783千円] --&gt; B[報酬 2,039千円]     A --&gt; C[委託料 5,744千円]     B --&gt; D[嘱託職員報酬1名 2,039千円]     C --&gt; E[株式会社 TEAM SPOT JUMBLE 3,945千円]     C --&gt; F[株式会社サンコー 1,799千円] </pre>					
					〔平和推進事業に関する会計年度任用職員〕
					〔「2020沖縄市民平和の日記念行事(平和学習イベント)」企画運営業務委託〕
					〔デジタル紙芝居制作業務委託〕

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○受託事業者は、公募型プロポーザル方式選定又は、地方自治法施行令167条の2第1項第2号の規定に基づく随意契約とした。</li> <li>○予算規模は、事業計画に準じた内容となっている。</li> <li>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	農業施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-(カ)	
担当部署名	経済文化部 農林水産課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	倉敷ダム流域下にある農業団体(畜産業)は、現在、県企業局より北部ダム原水の供給を受けているが、R3年度末に水供給を停止する為、新たに倉敷ダム放流水を水源とする水利施設を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R10年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度		
		(a)当初予算額	7,909	28,820			
		(b)予算現額	7,909	28,820			
		(c)増減額(b-a)	0	0	0		
		(d)繰越額	0	0			
	A. 計(b+d)		7,909	28,820	0		
	B. 執行済額		7,700	23,320			
	うち交付金充当額		6,160	18,656			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		97.4%	80.9%	#DIV/0!		
予算の状況の説明	事業計画通りに執行できた。なお、執行率(B/A)については、設計内容の見直し及び契約額との差によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度		
	実施設計の実施	目標	(基本設計の実施)	(実施設計の実施)	( )	( )	
		実績	基本設計の完了	実施設計の完了			
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	水管路などの水利施設の実施設計を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R10年度)
	実施設計の完了	目標	( )	基本設計の実施・完了	基本設計の実施・完了	整備工事の着手・完了	( )
		実績		基本設計の完了	実施設計の完了		
	【参考指標】 家畜出荷頭数5%増加(対R3比)	目標	( )	( )	( )	( )	( 5% )
		実績					
進捗状況説明	予定どおり実施設計を完了することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>管路を敷設する市道には多くの埋設物があり、既存埋設物に影響を及ぼさないよう管路敷設の位置など慎重な対応が求められる。</p>	<p>工事にあたっては、各占有者の立会の下で、管路の敷設工事を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計を基にR3年度の工事着手・完成を目指す。</li> <li>・施設管理について、水を利用する畜産団体と運用方法に関する管理協定を結ぶ。</li> </ul>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
23,320	23,320	18,656	4,664	
<pre> graph LR     A[沖縄市 23,320千円] --&gt; B[委託料 23,320千円]     B --&gt; C[榑田幸技建コンサルタント 23,320千円]     C --- D[〔実施設計業務〕]           </pre>				

資金の流 点検 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○業務委託者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○不用額は発生しておらず、適正な規模であった。</p> <p>○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		沖縄市					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	沖縄こどもの国推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(2)-ア	
担当部署名	企画部 プロジェクト推進室	事業実施(予定)年度	H27~R3	沖縄振興基本方針該当箇所	個性豊かで魅力あふれる基幹都市圏の形成		
事業内容	沖縄県を代表する広域的な児童・青少年のための人材育成拠点である沖縄こどもの国への誘客に向け、WEB・SNS広告を活用した情報発信等の各種ソフト施策を実施する。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度( R3年度)						
実施方法	□直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,992		51,220	50,442	18,150
		(b)予算現額	28,566		51,220	50,442	18,150
		(c)増減額(b-a)	20,574	0	0	0	0
		(d)繰越額	0		0		0
		A.計(b+d)	28,566	0	51,220	50,442	18,150
	B.執行済額		28,566		51,084	50,413	18,112
	うち交付金充当額		22,852		40,867	40,330	14,489
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	99.7%	99.9%	99.8%
予算の状況の説明		R2当初予算にて予算措置を行い、事業計画通り事業を実施し、適正に予算を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況			達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	沖縄こどもの国プロモーション業務の実施		目標 ( )	( )	( )	( 実施 )	
			実績			実施	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	沖縄こどもの国の認知度向上及びコロナ禍での安定集客、新型コロナウイルス感染症終息後での観光誘客の促進を目的に、WEB・SNS広告を活用した情報発信及び新型コロナ感染防止対策のPRも兼ねたコンテンツ企画の実施をはじめ、公式ホームページにおいて、多言語に対応した改修等を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄こどもの国プロモーション業務の完了		目標 ( )	( )	( )	( 実施 )	( )
			実績			実施	
	【成果目標】 目標入園者数:60万人		目標 ( )	( )	( )	( 60万人 )	( )
			実績			38万人	
進捗状況説明	・プロモーション業務の完了 ・新型コロナウイルス感染症拡大により、臨時休園(R2.4月11日~5月末)を行ったことや、入域観光客数が減少したこと等から目標入場者数を下回る結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・コロナ禍においても、動物園(屋外施設)の特性を生かしたPRを行ったことで、本業務実施以降(下半期)は集客を持ち直す場面が見られるなど、来園者のニーズが顕在化した。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ではあるものの、コロナ終息後のV字回復に向けたPR戦略、環境整備を行うなど、更なる充実を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・観光客(県外、国外)の動向やニーズを捉え、効果的かつ戦略的に情報発信を行い、観光誘客に努める。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
18,112	18,112	14,489	3,623	0



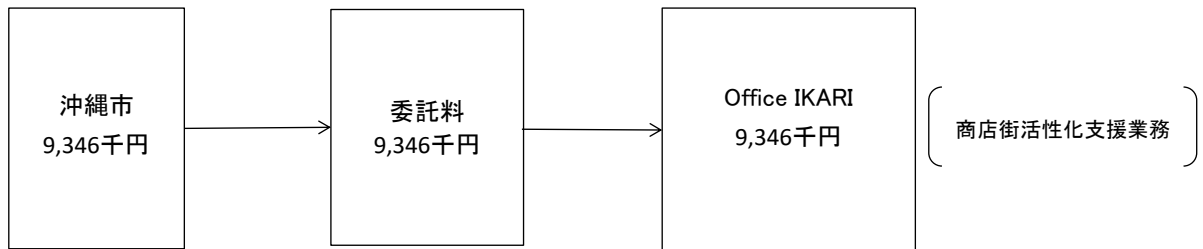
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルによる提案を受けて契約者選定しており、妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・用途については、業務委託完了後に検査を実施しており、目的に即していることを確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	沖縄市						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-①	商店街等活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(8)-イ		
担当部署名	経済文化部 商工振興課	事業実施(予定)年度	令和元年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を支える中小企業等の振興 Ⅲ-1-(7)		
事業内容	令和元年度に実施した調査等の課題を踏まえ、銀天街地域に交流拠点を作り、誘客効果の高いイベントを企画実施することにより、地域の連帯意識や魅力を高めるとともに、営業店舗数の増加やリーダーの育成を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			8,000	15,873	
	(b)予算現額				8,000	16,955	
	(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	1,082	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	0	0	0	8,000	16,955	
	B.執行済額				7,964	9,347	
	うち交付金充当額				6,371	7,477	
	次年度繰越額				0	0	
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	99.6%	55.1%	
予算の状況の説明	当初予定していた集合型イベントや組織づくりに向けた講演会や講座の開催が、新型コロナウイルス感染症の影響により実施ができなかったため執行残が発生した。執行額については、概算契約のため実績に応じ精算払いを行い執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・商店街組織への調査	目標	( )	( )	( 9 )	( )	
		実績			46		
	イベント実施件数(2件)	目標	( )	( )	( )	( 2件 )	
		実績				15件	
達成状況説明	イベントの内容について、当初eスポーツイベントの開催等を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、集合型の開催から少人数での複数回の開催とする「eスポーツ教室」を代替案として開催したため実績が上回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(3年度)
	営業店舗増加数(1件)	目標	( )	( )	( )	( 1件 )	( )
		実績				0件	
	【R3成果指標】 ①旧銀天街地区:47店舗 ②その他(全体):2,244店舗	目標	( )	( )	( )	( )	( ①47店舗 ②2,244店舗 )
		実績					
	進捗状況説明	営業店舗数については、新規出店はあったものの、全体ではR1年度の46店舗からR2年度は45店舗と1店舗減少となった。今後も引き続き、新規出店の支援と既存店舗の魅力向上のための支援に努め、営業店舗の増加を図っていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店舗が増加しなかった要因として、長引く新型コロナウイルス感染症による経済活動の縮小が影響していると想定される。</li> <li>・イベントの開催等については、地域に人を呼び込むという趣旨に加えて、地域主体という観点で運営をする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、新規出店や既存店舗の魅力向上に向けた支援を図る必要がある。</li> <li>・イベント等の開催において、商店街活性化を図る組織を結成し、内容の検討や運営方法について地域が主体となり開催できるよう、支援する必要がある。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規出店や既存店舗の魅力向上を図るため、市の各種支援策等の周知に努め、拠点を継続運営するとともに、常に地域を巡回し地域の方と引き続き繋がりをもつことで、最新の物件情報を収集し情報提供が行えるよう努めていく。</li> <li>・今後は、イベント等の開催においても、地域の組織力向上も見据えた観点を加えて取り組むことで、委託事業終了後においても継続した取組が行われるよう支援を図る。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
9,346	9,346	7,477	1,869	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により、組織、実績、知識等を助案した結果、妥当であると判断できる。</li> <li>○予算規模については、3社見積りや設計金額を踏まえ適正だと判断できる。</li> <li>○費目・使徒については事業目的達成の観点から必要性について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	